

外 国 語 学 部

【外国語学部英米科】

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
2101	アメリカの文化	1	必	4	岩野 一郎 他	
2121	英 語 II (作文) (1)	1	必	4	橋 本 惠	
2122	(2)				堀 部 充	
2123	(3)				近 藤 祐 一	
2124	(4)				松 永 隆	
2125	(5)				佐々木 剛 志	
2126	(6)				{ 有 元 將 剛 (前期) 青 柳 宏 (後期)	
2221	英 語 II (会話) (1)	2	必	6	J. Nord	英語 I 会話の単 位をすでに得て いる者に限る
2222						
2223	(2)				B. Wagner	
2224						
2225	(3)				C. B. Wordell	
2226						
2227	(4)				T. Bauerle	
2228						
2231	英 語 II (訳読) (1)	2	必	2	宮 川 佳 三	
2232	(2)				佐々木 剛 志	
2233	(3)				田 中 幸 子	
2234	(4)				小 宮 富 子	
2201	基 礎 演 習 A (1)	2	必	4	堀 部 充	
2202	A (2)				佐々木 剛 志	
2203	A (3)				西 脇 博	
2204	A (4)				近 藤 祐 一	
2205	A (5)				橋 本 惠	
2206	基 礎 演 習 B (1)	2	必	4	明 石 陽 至	
2207	B (2)				岩 島 久 夫	
2208	B (3)				金 井 光 太 朗	
2209	B (4)				西 村 貞 雄	

外国語学部

英 米 科

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2299	語学総合試験	2	必	0	M. Wright	英語 I 会話の単位をすでに得ている者に限り受験できる。
2321	英語 III (作文)	3	必	2	B. Wagner	
2322					M. Wright	Reading and
2323					P. Rush	
2324					T. Bauerle	
2325					G. Yardley	
2326					C. B. Wordell	Composition
2351	英語 III (講読)	3	必	2	B. Wagner	
2352					M. Wright	
2353					P. Rush	
2354					T. Bauerle	
2355					G. Yardley	
2356					C. B. Wordell	
2301	演習 I	3	必	4	有元 将剛	A群
2302					西脇 博	
2303					橋本 惠	
2304					C. B. Wordell	
2305					佐々木 剛志	
2306					松 永 隆	A群・B群共通
2307					近藤 祐一	
2308					岩野 一郎	
2309					金井 光太郎	
2310					西村 貞雄	
2311					明石 陽至	
2312					宮川 佳三	
2313					H. Wray	
2314					R. Riemer	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2421	英語 { Theme Discussion }	IV	4 必	4	R. Riemer	
2422	{ Theme Discussion }	(1)			M. LaForge	
2423	{ Theme Discussion }	(2)			J. Lenihan	
2424	{ Theme Discussion }	(3)			G. Yardley	
2425	{ Theme Discussion }	(4)			H. Wray	
2401	演習	II	4 必	4	有元 將剛	} A群 } A群B群共通 } B群
2402					橋本 惠	
2403					堀部 充	
2404					松永 隆	
2405					T. Murphey	
2406					近藤 祐一	
2407					岡部 朗一 (前期週2回)	
2408					明石 陽至	
2409					H. Wray	
2410					岩島 久夫	
2411					金井 光太郎	
2412					西村 貞雄	
2413					宮川 佳三	
A 群						
2501	言語学方法論 英米文学概説		2 指	4	有元 將剛	
2511	(1) アメリカ文学		2 選	4	堀部 充	
2512	(2) イギリス文学		2 選	4	橋本 惠	
2520	英語の構造	3・4	選	4	佐々木 剛志	

外国語学部

英米科

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2522	英語音声学	3・4	選	4	松 永 隆	
2525	英語史	3・4	選	4	中 尾 祐 治	
2531	英語学特殊講義(1)	3・4	選	4	青 柳 宏	後期週2回
2532	英語学特殊講義(2)	3・4	選	4	足 立 公 也	
2533	英語学特殊講義(3)	3・4	選	4	村 杉 恵 子	
2534	英語学特殊講義(4)	3・4	選	4	J. Nord	他学科履修不可
2535	英語学特殊講義(5)	3・4	選	4	T. Murphey	
2541	英米文学特殊講義(1)	3・4	選	4	C. B. Wordell	
2542	英米文学特殊講義(2)	3・4	選	4	磯 野 守 彦	
2543	英米文学特殊講義(3)	3・4	選	4	鈴 木 俊 次	
2544	英米文学特殊講義(4)	3・4	選	4	神 尾 美 津 雄	集中
2560	記号論理学	2・3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2561	歴史・比較言語学	3・4	選	4		本年度休講
2563	意味論	3・4	選	4	公 平 珠 躬	
2564	言語の哲学	3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2565	コミュニケーション論	3・4	選	4	岡 部 朗 一	前期週2回
2567	コミュニケーション 特殊講義	3・4	選	4	岡 部 朗 一	前期+集中
2571	外国語としての 英語教授法	3・4	選	4	L. Hanzel	他学科履修不可
英語表現特殊研究						
2581	マスメディアの英語(1)	3・4	選	4	L. Hanzel	他学科履修不可
2582	マスメディアの英語(2)	3・4	選	4	宮 川 佳 三	他学科履修不可
2585	英語通訳法	3・4	選	4	近 藤 祐 一	他学科履修不可
2586	英語翻訳法(1)	3・4	選	4	E. Skrzypczak	他学科履修不可
2587	英語翻訳法(2)	3・4	選	4	E. Skrzypczak	他学科履修不可
2588	英語スピーチ	3・4	選	4		本年度休講
2591	商業英語(1)	3・4	選	4	M. Wright	他学科履修不可

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2598	Intensive Comprehension & Speed Reading	3・4	選	4		本年度休講
	B 群					
2601	アメリカ史	2	指	4	金井光太郎	
2602	イギリス・英連邦史	2・3・4	選	4	奥田伸子	
2604	経済原論	2	選	4	西村貞雄	
2613	社会学概論	2・3・4	選	4	R. Riemer	
2606	英米の思想	3・4	選	4	小池英光	文学部開講科目
2610	英米の社会	3・4	選	4	岩野一郎	
2621	アメリカの宗教	3・4	選	4	梶原寿	
2622	アメリカの文学	3・4	選	4	堀部充	
2631	アメリカの政治(1)	3・4	選	4	岩野一郎	
2632	アメリカの政治(2)	3・4	選	4	金井光太郎	
2641	アメリカの外交(1)	3・4	選	4	宮川佳三	
2642	アメリカの外交(2)	3・4	選	4	H. Wray	
2643	アメリカの経済	3・4	選	4	堀一郎	
2646	アメリカの法制	3・4	選	4	倉持孝司	法学部開講科目
2651	アメリカ史特殊講義(1)	3・4	選	4	安武秀岳	
2652	アメリカ史特殊講義(2)	3・4	選	4	H. Wray	
5521	国際経済学	3・4	選	4	山田正次	経済学部開講科目
2676	国際経済学特殊講義(1)	3・4	選	4	西村貞雄	
2677	国際経済学特殊講義(2)	3・4	選	4	M. Bremer	経営学部開講科目 前期週2回
2680	国際政治論	3・4	選	4	菊池努	法学部開講科目
2682	国際政治論特殊講義(1)	3・4	選	4	岩島久夫	3年次履修が望ましい
2683	国際政治論特殊講義(2)	3・4	選	4	岩島久夫	4年次履修が望ましい
2684	国際企業論	3・4	選	4	A. Iaquinto	経営学部開講科目 前期週2回
5523	開発経済学	3・4	選	4		本年度休講

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2686	外 交 史 I	3・4	選	4	明 石 陽 至	
2687	外 交 史 II	3・4	選	4	佐々木 雄 太	
自由科目						
1801	文 学 論	3・4	自	4	内 藤 克 彦	文学部開講科目
2805	産 業 組 織 論	3・4	自	4	渡 辺 悌 爾	経済学部開講科目 (隔週)
5542	財 政 学	3・4	自	4	末 重 正 行	経済学部開講科目
5543	金 融 論	3・4	自	4	荒 井 好 和	経済学部開講科目
5811	会 計 原 理	3・4	自	4	白 木 俊 彦	経済学部開講科目
5812						
5835	民 法 I 1	3・4	自	4	柳 澤 秀 吉	経済学部開講科目
5851	商 法 I	3・4	自	4	篠 田 四 郎	経済学部開講科目
5871	行 政 法	3・4	自	4	市 橋 克 哉	経済学部開講科目
6104	経 営 学 総 論	3・4	自	4	岸 田 民 樹	経営学部開講科目 (夏期集中+後期)
6136	マーケティング論	3・4	自	4	中 田 善 啓	経営学部開講科目 (隔週)
6305	情 報 処 理 概 論 (コンピュータ・リテラシー)1	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6306	情 報 処 理 概 論 (コンピュータ・リテラシー)2	3・4	自	4	山 田 進	経営学部開講科目
6307	情 報 処 理 概 論 (Fortran)	3・4	自	4	井 垣 伸 子	経営学部開講科目 (夏期集中)
6308	情 報 処 理 概 論 (Cobol)	3・4	自	4		本年度休講
6309	情 報 処 理 概 論 1 (Pascal)	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6310	情 報 処 理 概 論 2 (Pascal)	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
8001	憲 法 I	3・4	自	4	小 林 武	法学部開講科目
8120	国 際 法 I	3・4	自	4	岡 田 泉	法学部開講科目
8390	国 際 私 法	3・4	自	4	青 木 清	法学部開講科目

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	随意科目					
2931	英語作文(上級) 1	2・3・4	随	2	渡辺義和	} 他学科用 予備登録した 学生に限る
2932	英語作文(上級) 2	2・3・4	随	2	渡辺義和	
2941	英語会話(上級) 1	2・3・4	随	2	D. Dycus	
2942	英語会話(上級) 2	2・3・4	随	2	D. Dycus	
9053	英語科教育法 C	3	随	4	松永 隆	
9054	英語科教育法 D	3	随	4	田中春美	

外国語学部

英米科

【外国語学部英米科】

講義概要

専門必修科目

2101 アメリカの文化 (必・1年次・4単位・通年) 岩野一郎、他

世界の中の二国間関係で最も重要だといわれているのが日米関係である。そして、アメリカに関する多くの情報がマスコミを通じて流され、われわれは気づかぬうちにアメリカの影響を大きく受けている。だからといって、われわれはアメリカについての情報を正しく分析し、判断しているのだろうか。

この講義は英米科のカリキュラムの一つの柱であるアメリカ研究の序論をなすものであり、アメリカを対象に、ティーム・ティーチング方式によって講じていく。序論に始まり、歴史、外交、政治、経済、文学、言語、宗教の各方面を探っていく。二冊の参考文献は学年が進んでも座右に備えて参照されるべき性格のものである。なお、最後の三回(宗教)は英語による講義が予定されている。

参考文献：中屋健一編『アメリカ入門十二講』(三省堂)

齊藤・嘉治編『アメリカ学入門』(増補改訂版)(南雲堂)

2121

英語Ⅱ(作文) (必・1年次・4単位・通年)

橋本	惠
堀部	充
近藤	祐一
松永	隆
佐々木	剛志
有元	將剛
青柳	宏

2126

週二回(火曜と木曜)の授業で、火曜日のクラスでは、これまで学習してきた英語の文法を使い、正しい英語が書けるよう訓練する。木曜日のクラスでは、与えられたトピックについて、種々の主題展開法を駆使し、論理的なパラグラフを基にした英文エッセーや論文が書けるような作文力の養成を目指す。

2221

英語Ⅱ(会話) (必・2年次・6単位・通年)

J. Nord
B. Wagner
C. B. Wordell
T. Bauerle

2228

This course builds on skills introduced in English Conversation I. It is designed to help students develop their ability to understand and use spoken En-

glish. Students attend the course three times a week. Each meeting is divided into two 45-minute portions: Speech and Listening.

During the Speech portion of the class, students discuss assigned readings, present reports, lead discussions, and take part in guided or free conversations. During the Listening portion, students listen and do exercises in the language laboratory. They will hear a wide variety of stories, conversations, dramas, and long texts, in both American and British English. They will also view videos. Because these skills require practice, regular attendance is strictly required.

2231 }	英語Ⅱ(訳読) (必・2年次・2単位・通年)	宮川佳三
2234		佐々木剛志
		田中幸子
		小宮富子

訳読は単に英文を日本文に直すことではない。日本語に訳したけれど全体として何を言っているのか分からないようでは英文を訳したことにはならない。直読直解が最終目標であるが、そのためには先ず土台となる単語熟語の知識をつけ、又パラグラフのトピックセンテンスを見つけて筆者が何を言おうとしているかを知るよう留意する必要がある。辞書はできるだけ英々辞典を使用して英語に対する勘を養うことが望ましい。教室でのテキストの他に、side readingを宿題として課し、テストを行う。

2201 }	基礎演習A (必・2年次・4単位・通年)	堀部充
2205		佐々木剛志
		西脇博
		近藤祐一
		橋本恵

A群の基礎演習は、ことばとは何かを、その諸相の考察を通じて考究し、ことばに関する基礎的な概念を修得することを目的とする。

2206
 } 基礎演習B (必・2年次・4単位・通年)
 2209

明石陽至
 岩島久夫
 金井光太郎
 西村貞雄

B群の基礎演習では、3・4年次においてアメリカ研究ないしは国際関係に関する研究に取り組むための基礎として、まずアメリカに関する知識を学ぶことを目的とする。と同時に、地域研究や国際関係研究に関する研究方法や分析手法の基礎的知識も学びとる。担当者は複数であり、専門も異なるが、以下のテキストおよび参考書は共通である。共通テキスト・参考書の他に、担当者の判断によりそれぞれの特徴を生かしたテキスト・資料を使いながら授業を展開していく。

共通テキストおよび共通参考書：

David Chalmers and Makoto Saito, *A Brief History of the American People: 1607~1986* (Tokyo: Nan'un-do, 1987)
 大下他編『資料が語るアメリカ』(有斐閣、1989)

2321
 } 英語Ⅲ(作文) (必・3年次・2単位・通年)
 2326

B. Wagner
 M. Wright
 P. Rush
 T. Bauerle
 G. Yardley
 C. B. Wordell

The main goal of English III is to enable students to develop a level of proficiency in reading and writing both formal (i. e. academic) and informal English. The writing component of English III will introduce students to the basic mechanics required for essay writing in a variety of expository styles. By the end of the course students will know how to write a research paper. The course is also intended as a revision and strengthening of writing skills and the language forms common to major types of writing. Both intensive and extensive writing assignments will be required, and all students will be required to submit a research paper. In the second semester, all assignments must be typed.

2351
{
2356

英語Ⅲ(講読) (必・3年次・2単位・通年)

B. Wagner
M. Wright
P. Rush
T. Bauerle
G. Yardley
C. B. Wordell

A wide variety of native-level texts will be introduced in the reading component, as will various reading skills including skimming, scanning, and inferring. Students will also be acquainted with other reading strategies which are intended to improve reading comprehension and by the end of the course the student should be able to successfully read a wide range of native-level texts with reduced dependence on a dictionary, and an improved rate and level of comprehension.

2301 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

有元 將剛

〔現代英語の構造〕

現代英語がどのような体系を持っているか研究する。英語を深い原理に基づいた体系立ったものと捉えることにより、体系的に英語を理解できるのではないか。ひいては将来英語を教える際に役に立つであろう。

理論的枠組みは最近の生成文法を用いる。又、生成文法は何を指す理論なのかということも概観する。

2302 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

西脇 博

〔現代英語の史的理解〕

現代英語はそれ自体システムをなすと同時に長い歴史の所産でもあり、例えば発音と綴りの関係、所謂不規則活用など、英語の歴史を調べて始めてその由来が理解できる面がある。演習Ⅰではこのような理解に必要な言語変化の種々の過程を具体的な例によって考察し、さらに現代英語の語彙に反映される文化史を概観する。また語源学、比較言語学の基本的な方法について解説し、問題を与えて演習を行う。

テキスト：Hugh E. Wilkinson, *The How and Why of English*. 研究社

参考書：中島文雄著「英語発達史」(岩波全書) 岩波書店

およびプリント

2303 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

橋本 恵

〔二十世紀イギリス小説〕

今世紀イギリス小説の代表的な作品を、その時代思潮に位置付けて読む。と同時

に、英米の最新の文学批評を研究し、作品解釈の実践に役立てられるように指導する。

今年度はテキストとしてヴァーニジア・ウルフ (Virginia Woolf) (1882-1941) の *Orlando, A Biography* (1928) を読む。

2304 演習 I (必・3年次・4単位・通年) C. B. Wordell
〔American Literature and the American Short Story〕

This seminar gives an overview of American fiction. In the first year, students will study twenty short stories, a history of American literature, and sources of literary scholarship. (Students should also take the American Poetry course.)

In the second year of the seminar, American Fiction, students will read novels or collections of short fiction. For the graduation essay, they will choose and write about a book by one writer. Much class discussion will be in English. There is a summer 1995 literary tour of the United States.

2305 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 佐々木 剛 志
〔英語と英語について〕

取り上げる項目は

1. 言語の起源と英語
2. 英語小史
3. 語彙構成
4. 発音とスペリング
5. 方言
6. よい英語、悪い英語
7. イギリス英語、アメリカ英語
8. 世界共通語としての英語

などである。

使用教科書は *The Mother Tongue* by Bill Bryson 他。

2306 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 松 永 隆

このゼミでは、応用言語学の1つの大きな分野である第2言語習得をテーマとします。特に英語(外国語)学習や習得の結果ではなく、プロセスに注目して談話分析を行い、第2言語によるコミュニケーション能力とは何かを学習をしたいと思えます。

中学校では既に今年度から新学習指導要領が実施されています。高校の英語教育でも新課程が来年度から実施されます。この新しい学習指導要領には、「コミュニ

ケーション能力」と「国際理解」という大きなキーワードが2つあります。具体的には、改定の要点として次のように述べられています。

ア 国際化の進展に対応して、コミュニケーション能力を一層育成する。

イ コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を育てる。

ウ 外国及び我が国の言語や文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を養う。新学習指導要領に記載されている目標を、WrittenとOral Communicationの観点の両方から分析し、英語教育に携わる者として必要とされている事柄を勉強していきたいと思います。

2307 演習 I (必・3年次・4単位・通年)

近藤 祐一

〔文化とコミュニケーション I〕

コミュニケーション行為は、どう「文化」に影響されているのか、そして、異なる文化背景を持った人々がコミュニケーションを行った場合、どういった現象が起きるのか。「異文化コミュニケーション」と一般に呼び習わされているこのジャンルをコミュニケーション論を基本にして見直すことがおもな目的である。演習 I では、特に日米のコミュニケーションパターンを考察していく。同時に、「社会科学」的方法での調査法も学習する。

今年度開講される、「コミュニケーション論」、「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト：コンドン 異文化間コミュニケーション

Samover & Porter *Intercultural communication: A reader* (6th ed.)
及びプリント

2308 演習 I (必・3年次・4単位・通年)

岩野 一郎

〔アメリカの大統領制—その起源、歴史、および現状〕

本演習ではアメリカ合衆国の行政を担当する大統領について、その権力の源泉である「大統領制」の創造から解き明かして行く。「建国の父祖達」が憲法の仕組みの中のどのように大統領制を位置づけたかを考察し、次いで大統領制の展開をワシントンからクリントンに至る歴史の中で跡づけていく。テキストは以下の通り。

Milks and Michael, *The American Presidency: Origins and Development, 1776-1990* (Washington, D. C. : CQ Press, 1990)

Hess, Stephen, *Organizing the Presidency, 2nd ed.* (Washington, D. C. : The Brookings Institution, 1988)

Burke, John, *The Institutional Presidency* (Baltimore: The Johns Hopkins University Press, 1992)

2309 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 金井 光太郎
〔大量生産の社会史〕

大量生産システムを単なる技術、工夫の発展の結果ととらえるのではなく、それを生み出し支えたアメリカ社会の特質を探り、またそのシステムが人と人との関係に及ぼした衝撃を考察する。

2310 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 西村 貞雄
〔戦後アメリカの国際経済政策〕

演習は、まず(1)国際経済問題を扱うための国際経済学の基本知識を学んで行く事、(2)戦後の国際経済と米国経済の依存関係を歴史的に簡単にフォローする事、この二つを並行的に進め、そのあと現在の国際経済問題に関する論文等をピックアップしながら議論を進めてゆく。最終的に議論したいテーマは、(1)GATTに代表される国際貿易システムと米国の通商政策、(2)為替レートや国際収支などの国際金融問題と米国のかかわりだが、主として第一のテーマを中心とし、第二のテーマは第一のテーマにかかわる限りで触れるにとどまることになろう。現在テキストブックとしては

King (ed.), *International Economics & International Economic Policy: A Reader*, 1990.

を考えている。しかしこれのみというわけではなく、最初は邦語文献をむしろ中心になるべく多くの文献に触れるようにし、後期に英語の文献なども含めて少し専門的な議論にも入るようにする。テキストブックを使用するばあい授業の開始時にそれを提示し、また文献リストもその時配ります。

2311 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 明石 陽至
〔20世紀初期より太平洋戦争終結前後までの東南アジア事情〕

副題の如く、欧米諸国が東南アジア地域を植民化してゆく過程を学習し、欧米植民地勢力の進出に対して東南アジアの民族主義運動が如何に反応したかを考察する。更に、太平洋戦争中、日本がこの地域を占領した時代の歴史的位置づけについても考えてみたい。

2312 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 宮川 佳三
〔アメリカの外交と日米関係〕

太平洋戦争後の日米関係は、共産主義封じ込め政策ゆえに、当初のアメリカの対日政策目標から大きくずれた。いわゆる冷戦の状況のもとでアメリカの対日政策は展開された。冷戦が終わった今、日米両国はその関係に新しい方向を求められている。特に日本は21世紀の国際社会の平和と安全のために、如何なる役割を果たしていくのか、という大きな、日本にとってはじめてと云っていい、課題に取り組むこ

とを求められている。

「演習 I」では、アメリカ外交の全体の流れを理解し、且つアメリカと日本の関係、アメリカとアジアの関係を歴史的に整理する。

演習は、アメリカ外交(史)と日米関係・アメリカとアジア関係の英文資料を用いて、分担報告・質疑応答形式で行われる。

2313 演習 I (必・3年次・4単位・通年) H. Wray
[The American Occupation of Japan, 1945-52]

The purpose of this seminar is to understand the significance of the Allied Occupation of Japan within modern Japanese history by examining the various economic, political, social, cultural, and, especially, educational reforms that took place during that time period. Attention will be given to the extent of change and continuity that has occurred for each reform since the Occupation. Theme questions throughout the school year will focus on such topics as: were there any roots for the reforms; why did some reforms succeed and some fail; how much and why did the Japanese side cooperate or oppose the various reforms; how much pressure did the American side apply on certain reforms: how influential was the cold war in altering Occupation reforms; what happened to the reforms after the Occupation ended? Most materials read will be in English. During the second semester a graduation thesis topic will be chosen. Preliminary research will begin on the topic and a short paper will be written and presented orally to other seminar members.

2314 演習 I (必・3年次・4単位・通年) R. Riemer
[The Changing American Family]

The purpose of this seminar is to use sociology as a way to explain the family in American society, especially the changes which have occurred during the twentieth century. Three main areas will be covered.

- I The Family in History
- II Present Day Family System in America
- III Recent Trends in America which Pertain to the Family

It is hoped that the students will acquire a good deal of knowledge about American family, be introduced to the science of sociology and be prepared by this course to study "Ethnic and Racial Groups in America" which will be the subject of the Senior Seminar.

2421
} 英語Ⅳ (必・4年次・4単位・通年)
2425

R. Riemer
M. LaForge
J. Lenihan
G. Yardley
H. Wray

Students will be asked to consider a number of current issues relating to society. Past topics for discussion have featured topics dealing with aspects of education, politics, the media, women and work, and love and marriage. Students will be expected to prepare for the discussions by background reading and by preparing materials for the class, which may be reinforced by a variety of other texts and audio-visual materials. A number of essays related to these topics will be set each semester in which students will be invited to give informed and well-presented opinions on some of the topics. All essays submitted must be typed.

2401 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 有元 将剛
〔言語理論と英語の統語構造〕

ミニマリストアプローチに代表される最近の生成文法理論を基に英語の統語構造を明らかにする。テキストの他に *Linguistic Inquiry*、*Language* 等に掲載された数多くの論文を読む。リサーチペーパーは新しい言語事実の発見、新しい視点による一般化の発見に主目標をおく。

2402 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 橋本 恵
〔二十世紀イギリス小説〕

今世紀イギリス小説の代表的作品を小説解釈の方法論を重視して読解する。前期には、リサーチ・ペーパーの研究対象作品、研究題目を決定する。後期にはその研究題目にしたがって個別的指導をし、ゼミでは各自による中間発表及び討論をする。

2403 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 堀部 充
〔二十世紀アメリカ小説〕

演習Ⅰの連続として、20年代以降のアメリカの小説の代表作を取り上げ、それぞれの時代と地域の問題がどのような形で作品に反映されているかを考えたい。フィッツゼラルド、スタインベック、フォークナー、サリンジャー等の作品を中心に読む。

2404 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 松永 隆

演習Ⅰにおいて概観した心理言語学的・社会言語学的・神経言語学的研究をもと

に、実証的な研究の進め方（計画の立て方、データ収集とその分析方法）をさらに詳しく学びます。特に学習ストラテジー、コミュニケーションのストラテジー関連に焦点を絞り、履修者自らが選択したテーマを1年間追求してもらいます。平成5年度から実施される新学習指導要領の「コミュニケーション能力とその態度の養成」という大きな目標を実現するために必要となる知識と技能を習得することを目的とします。

2405 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・通年） T. Murphey

This second year seminar's mission is to contribute to the improvement of the quality of student life through NLP research. We will combine specific readings in NLP with concrete research projects in the field for each student's chosen topic. General areas of research will be the modeling of effective language learning and social adaptation strategies, beliefs and states, and procedures for teaching these to others through a variety of NLP techniques. Oral presentations of the projects and findings can be presented at a November NLP Conference open to the public. In addition to the regular thesis, a summary of the procedures and findings of each student's project is planned for publication. (If possible students should also take special lecture, Japanese/English Language Acquisition and Neuro-Linguistic Programming.)

2406 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・通年） 近藤 祐一 〔文化とコミュニケーションⅡ〕

今年度は、演習Ⅰで学んだ比較文化的視点を基に、文化と文化が実際に衝突した場合にどうなるかということを考えていく。つまり、一般に異文化適応、カルチャーショックと呼ばれる、行動的、心理的現象を文献や、実験を通して考察する。今年度開講される、「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト：Samover & Porter, *Intercultural Communication: A Reader (6th ed.)*
及びプリント。

2407 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・前期） 岡部 朗一 〔異文化レトリックの構図Ⅱ〕

英語コミュニケーションにおいて特に重要な概念であるレトリック（説得）の問題に焦点をあてて特にアメリカの社会運動の説得レトリック構造を検討する。前期からリサーチ・ペーパーの指導もおこなう。前期に週2コマの授業を行ない終了する。このゼミの学生は、本年度開講の「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト（予定）：Charles J. Stewart, Craig Allen Smith, and Robert E.

Denton, *Persuasion and Social Movement*, 3rd ed. Waveland Press, 1993.

2408 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 明石陽至

〔現代東南アジアの国内・国際事情〕

現在世界で最も経済成長率の高い東南アジア諸国の国内政治に考察の焦点を絞り、後期においてASEANを中心とした地域統合、ASEAN=APEC関係、特に日本・アメリカ・中国との関係を考察する。

2409 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) H. Wray

〔The American Occupation of Japan: 1945-1952〕

Based on the background learned during the junior seminar year, students will continue to do research on their graduation thesis, deepen their knowledge of the occupation's reforms in all sectors, and come to a greater understanding of the significance of the Allied Occupation in modern Japanese history. Two questions will be constant themes: How much change and continuity have occurred in regard to Occupation reforms since the Occupation? How much change and continuity exist between prewar and current Japanese thought and practice regarding a specific occupation reform? Students will read and discuss other topics unrelated to their graduation thesis; moreover, they will give at least one report on a topic not related to their graduation thesis. Each student will be expected to give one oral and written report each semester on the theme of their graduation thesis.

2410 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 岩島久夫

〔冷戦後の新国際秩序を考える〕

「ニュー・ワールド・オーダー」(新世界秩序)を目指して世界は動いているように見えるが、その「形」はまだはっきりとは見えていない。しかし、ギクシャクしながらもヨーロッパでは欧州連合条約(マーストリヒト条約)は発効し、問題を抱えつつも進展しているように見えるし、アジア太平洋ではAPEC(アジア太平洋経済協力会議)が首脳レベルに格上げされて新しい歩みを始めたようだ。「ボーダーレス」で「ファジー」な「フラグメンテーション」状態といわれる冷戦後世界の新しい枠組みを考察する。

2411 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 金井 光太郎
〔アメリカの国家と公共〕

演習Ⅰに引き続き、アメリカ国家形成の原点を探ってゆく。国家の幻想性、フィクション性という観点から考察を深めたい。幻想を成り立たせる要因の一例として、ヴァージニアでの白人の自由と黒人奴隷制の相関を見てゆく。

2412 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 西村 貞雄
〔米国の通商政策：自由貿易主義と保護貿易主義〕

自由貿易と保護貿易をめぐる米国の政策上の諸問題を取り上げる。細かい事実関係よりも基本問題の理解を重視して議論を進めて行きたい。また、前期からリサーチペーパーの指導に入る。

2413 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 宮川 佳三
〔冷戦期の日米関係と今後〕

演習Ⅱは、演習Ⅰの延長上に位置し、特に1960年代の外交・安全保障政策の問題、例えばヴェトナム戦争から1970年代のニクソン政権の外交政策、1980年代の共和党政権の外交政策の展開を整理し、且つその間の日米関係をたどり、冷戦期における日米関係を確認する。そしていわゆる冷戦終了の時代における日米関係の在り方を考える。

演習は、英文資料を用いて、分担報告、質疑応答形式で行われる。

尚同時に国際政治・経済の今日の諸問題をも取り上げるので、新聞・雑誌を読むことを日課とすること。

専門選択科目

A 群

2501 言語学方法論 (指・2年次・4単位・通年) 有元 将剛

生成文法の考え方、目標を論じる。統語的を中心とするが意味論、音韻論も扱う。文の情報構造を明らかにする機能文法、社会と言語の関係を明らかにする社会言語学についても触れる。

2511 英米文学概説 (アメリカ文学) (選・2年次・4単位・通年)

堀部 充

アメリカの時代の流れにそって、19世紀以降のそれぞれの時代思潮を代表する作品を読み、アメリカ文学を概観する。原則として毎時間一篇の短篇小説を取り上げ、小テストを行う。長篇小説は宿題として読む。

2512 英米文学概説（イギリス文学）（選・2年次・4単位・通年）

橋本 恵

イギリス文学を文学史の流れにそって、時代思潮をふまえて概観する。多数の作家、作品を網羅的にとり上げるのではなく、各時代を代表する作品に焦点をあて、実際にそれを読むことによってイギリス文学の姿をとらえる。

2520 英語の構造（選・3・4年次・4単位・通年） 佐々木 剛 志

〔統語論〕

この授業では英語の構造といっても、統語論のみを取り上げる。言語の一つである英語は当然言語一般の持つ特性を持つと同時に、英語に固有の特徴をも有する。

この授業では主として後者の観点に重きが置かれる。この特性、特徴は「規則」の形でまとめることができるのであるが、それを「この場合はこう」という場当たりの形で呈示するのではなく、なるべく広い範囲の言語事象に当てはまる形で示していく。

使用教科書は *A New Approach to English Grammar, on Semantic Principles* by R. M. W. Dixon

他に最低一冊学生自身の選んだ文法書

2522 英語音声学（選・3・4年次・4単位・通年） 松 永 隆

英語音声学に基礎知識を与えるとともに、特に日本人が英語を発音する際の困難点を指摘し、日・英語の音韻構造の違い、訓練のヒントを示す。発声器官の名称と働き、英語音の分類と記述、音連続の発音、発話に見られる音声的变化、アクセント、イントネーション等を詳述する。主として調音音声学に重点を置くが、音響音声学の基礎にも触れる。さらに音韻論の基礎的な諸概念も概観する。履修する学生は、必要に応じて視聴覚ライブラリーで音声教材を使用して実際の訓練にも留意することが求められる。将来英語を教える仕事に就きたい人にとって役立つような内容にする予定である。

2525 英語史（選・3・4年次・4単位・通年） 中 尾 祐 治

今日国際語として大きな地位を占めている英語も、5世紀半ば以前には現在のイギリス国内には存在していなく、ヨーロッパ大陸におけるゲルマン小部族の言語に過ぎなかった。こうした歴史を、有史前、古英語期（449-1150）、中英語期（1150-1500）、近代英語期（1500-現在）と時代を追って学習する。英語史を学ぶことによって、英語に対する説明力は飛躍的に増大するであろう。

2531 英語学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・後期) 青柳 宏
〔普遍文法と日英語〕

ヒトは原理的にその人種、国籍などに関係なく、誰でもまたどんな言語でも母国語として習得する能力を持っている。このような言語習得が可能なのは、ヒトが生まれながらにしてすべての言語の共通の原理、原則の体系を頭の中に持っているからと考えざるを得ない。

この原理、原則の体系、すなわち普遍文法、とはどんなものなのか、また、実際に言語間に観察される差異はどう説明されるべきなのか、を身近な日本語、英語を題材として検討してゆきたい。

2532 英語学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 足立 公也

今年度は変形文法理論の進展を促したいいくつかの事象をとりあげて、その理論的意義だけではなく、言語分析の実例としての側面も考慮に入れて検討していく。

なお、受講者は変形文法の基礎的な知識があることが望ましい。

2533 英語学特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 村杉 恵子
〔心理言語学〕

心理言語学研究の中心的な課題である(1)言語の理解と産出のメカニズム、及び(2)第一・第二言語獲得について考える。理解、産出および言語獲得それぞれについて、理論的背景と分析法を概観し、実証研究を紹介する。他の言語学の領域(統語論、意味論、音韻論、形態論等)との関わりについても言及する。

テキストは *Language: An Invitation to Cognitive Science Vol. 1* edited by Daniel N. Osherson and Howard Lasnik (1990)

2534 英語学特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年) J. Nord
〔Computers and Language Learning〕

This course will introduce students to various ways computers can be used to improve their English. Students will learn basic computer applications such as database management, telecommunications and wordprocessing, as well as how computers are used directly to teach languages. Students will become involved in a global problem solving project. They will use English as members of the project team, and they will use the computer to gather information both locally and around the world using an electronic information network.

- 2535 英語学特殊講義(5) (選・3・4年次・4単位・通年) T. Murphey
〔Japanese/English Language Acquisition and Neuro—Linguistic Programming(NLP)〕

NLP is the study of the structure of subjective experience, that is, how we all make sense out of the input we receive through our senses. It is also a tool for modelling excellence. The framework of NLP allows individuals to explore a lot of alternative learning forms (ALF) for acquiring languages. Different options can then be chosen and adapted to personal preferences and needs for learning. This is a research course and students need to be enthusiastic and inquisitive. The class will be interactive and attendance required. Homework, including reading, observations and experimentation will take about two hours a week. Grades are based equally upon active participation, research papers, and semester final essay exams. This course is open to visiting foreign students at the CJS September through December in order to experiment with their Japanese acquisition, your English acquisition and cooperative learning.

- 2541 英米文学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)
C. B. Wordell

〔American Poetry from 1650 to 1960〕

Each week students will read one or two poems and write a brief report on one of them. The course aims to introduce many American poets, to give students the opportunity to discuss literature in English, and to teach students how to write about poetry. Each week we will also discuss the lyrics of one song, chosen by a student. Homework will require 90 minutes each week.

- 2542 英米文学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)
磯野守彦

〔子供をめぐる夫婦の話：サイモン、オルビー、シェパード〕

中世聖史劇において描かれた「聖家族」に源を発する「家族劇」の系譜の一端を現代アメリカの劇作家、サイモン、オルビー、シェパードに見る。子供とは・・・夫婦とは・・・そして家族とは・・・

使用テキスト：N. Simon, *I ought to be in Pictures* (1980)

E. Albee, *Who's Afraid of Virginia Woolf?* (1962)

S. Shepard, *Buried Child* (1978)

2543 英米文学特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年)

鈴木俊次

〔The Rainbowの女たち〕

前年度はD. H. ロレンスの短編を前期から後期と読んだが、今年度は同じロレンスの中期の代表的長編小説*The Rainbow*を読む。この小説はこの作家の故郷英国中西部ノティンガム・ダービーを舞台にBrangwen家三代の年代記の形をとって、男女関係のあり方を追求している。特に三代目のアーシュラはこの物語の中心人物であるが、このアーシュラを中心にBrangwen家の女たちの生き様を探ることで、フェミニズムの問題にも言及することになる。

テキスト D. H. Lawrence, *The Rainbow* (Penguin Books)

2544 英米文学特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・集中)

神尾美津雄

〔イギリス近世文学の諸相〕

イギリス18世紀から20世紀までの文学の歩みを考える。詩、小説、散文、その他リテラシー (literacy) の分野に入るものは文学としてとりあつかう。ただしこれは文学の概論ではない。各時代はどのような文学を期待したのか、そのような文学が何故その時代に出現せざるをえなかったのか、という疑問を出発にしてみたい。人間の精神構造とのかかわりで考察する。

2560 記号論理学 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 服部裕幸

文学部1078「哲学演習Ⅷ」参照。

2563 意味論 (選・3・4年次・4単位・通年) 公平珠躬

言語こそ人間を他の生物から区別する最大の武器であることは疑いないところですが、その意味作用の機構の本質をどこに求めたらよいのでしょうか。ここでは、現代言語学の意味論の立場から、私達の思考様式の枠組みである言語の意味機能を種々のモデルに従って概観したいと思います。特に、論理の意味論の最新のテキストとして*Formal semantics; an introduction* by R. Carn (1993; Cambridge U. P.) からの興味深い議論を紹介しながら読みたいと思います。

2564 言語の哲学 (選・3・4年次・4単位・通年) 服部裕幸

文学部1063「哲学特殊講義Ⅲ」参照。

2565 コミュニケーション論 (選・3・4年次・4単位・前期)

岡部朗一

最初の2・3回の講義でコミュニケーションの基礎概念を論じ、その後は個人内

(intrapersonal)、対人 (interpersonal)、小集団 (small group)、公的 (レトリック的) (public)、マス (mass)、異文化 (intercultural) という各々のコミュニケーション・レベルに従って、具体的に英語に焦点をあててその基礎理論を主に講義の形で検討する。また非言語 (nonverbal) コミュニケーションについても扱う。前期の週2コマの授業を行なって終了するので、毎授業時間に小テスト、出席簿等で出席をとる。コミュニケーション関係の「演習I」を履修する学生はこの科目を履修すること。

テキスト：*Basic Readings in Communication Theory*, 4th ed.

石井敏他『異文化コミュニケーション』(東京：有斐閣)、岡部朗一『異文化を読む——日米間のコミュニケーション』(東京：南雲堂)

2567 コミュニケーション特殊講義 (選・3・4年次・4単位・前期+集中)

岡部朗一

〔アメリカの政治コミュニケーション〕

現代アメリカの政治コミュニケーションの中にあられた、言語を通しての説得手法を解明する。前期では、アメリカ人が建国以来信奉しているイデオロギー、価値観が、伝統的な政治レトリックの中でいかに継承されてきたかを検討する。後期には、アメリカの政治で駆使される典型的なコミュニケーション形態を分析することにより、その説得メカニズムを解明する。年間の講義を通して、アメリカの政治において、言語コミュニケーションが果たしている役割を明らかにしたい。また選挙コミュニケーション(遊説スピーチ、テレビ討論、選挙コマーシャル)等のビデオ・テープを随時利用したい。前期週1回の授業と7月下旬に3日間の集中講義を行って終了するので、毎授業時間に小テスト、出席簿等で出席をとる。コミュニケーション関係の演習I・IIの学生はこの科目を履修すること。B群で特にアメリカの歴史、政治を専攻する学生の履修も勧めたい。講義概要とプリントを用意する。

テキスト：岡部朗一『政治コミュニケーション——アメリカの説得構造を探る』(有斐閣、1992)；岡部朗一『大統領の説得術』(講談社、1994)

2571 外国語としての英語教授法 (選・3・4年次・4単位・通年)

L. Hanzel

This is a course for those interested in becoming a language teacher, especially an English teacher. The lectures will focus on the theoretical background a teacher should have, as well as on practical teaching techniques and learning problems of students.

2581 マスメディアの英語(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

L. Hanzel

This is a course for students seriously interested in developing their listening comprehension ability of *formal* English. We will, therefore, work to expand the individual's listening comprehension ability, as well as his knowledge of formal words and expressions. To attain these goals, we will make regular use of various audio-visual materials. There will be both intensive and extensive practice on a variety of current topics.

2582 マスメディアの英語(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

宮川佳三

本講義の目的は、①国際政治・経済関係の記事を読み、世界の政治・経済の動向を理解し、②そういった種類の読み物を通して英語の表現、文の構造、英文記事全体の構造等に自分自身で近づき、英文記事・論説の特徴を知り、writing techniqueを習得し、実際自分で英文を書くことにある、和文英訳、自由英作文を組み合わせ、授業を展開していく。又ヒアリング能力の向上のために、英語のニュース、報道番組を聞く(見る)機会を提供するつもりである。

2585 英語通訳法 (選・3・4年次・4単位・通年) 近藤 祐一

逐次通訳の基礎的な理論と実践訓練に重点をおき、かつ同時通訳の基礎訓練も導入する。単語力、表現力、時事問題に関する知識を高め、英語および日本語の総合的な運用能力を開発することを目的とする。視聴覚特別教室を使って、演習を中心として、政治、外交、経済といったいくつかのテーマ別のテキストを導入し、繰り返し学習する。毎週おこなわれる小テストの成績を特に重視する。

テキスト: *Let's Communicate* (一橋書房)、E・G・サイデンステッカー、松本道弘共編『最新日米口語辞典』(朝日出版社)その他英字新聞。

2586 英語翻訳法⁽¹⁾
2587 英語翻訳法⁽²⁾ (選・3・4年次・4単位・通年) E. Skrzypczak

Short stories written by recognized Japanese authors for young readers will be translated by the students into English. Class periods will be used to review these translations, looking for patterns and rules-of-thumb, with a view to acquiring a systematic approach to translating and a set of habitual skills.

2591 商業英語(1) (選・3・4年次・4単位・通年) M. Wright

In this course we will be dealing with the English used in business and man-

agement situations. It will be a workshop-style course, with class time being devoted to group work with simulations and case studies. The course is designed for students who are planning on entering a career in which English will be necessary tool for their business life. Emphasis will be placed on developing the ability to communicate effectively, both in spoken and written forms.

B 群

2601 アメリカ史 (指・2年次・4単位・通年) 金井 光太郎

アメリカ史の通史を見ることで、基本的知識を身につけるとともに、変化の流れを理解する。特に、自由と秩序をめぐる、アメリカの人々は大きく揺れ、新しい体制を模索した。その様子を植民地時代、アメリカン・システム、産業化体制、福祉国家と自由の終焉に焦点をあてながら検討する。

2602 イギリス・英連邦史 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

奥田 伸子

〔イギリスにおける余暇活動と大衆文化〕

「労働」と「余暇」の区別は工業化と都市化の産物であるといわれている。とすれば、「最初の工業国家」であったイギリスが、余暇活動のあり方を最初に模索した国であったことも納得できることである。余暇活動の歴史は、近年のイギリス歴史学界でもっともさかんな研究分野のひとつである。

講義では、伝統的社会における娯楽と近代社会の余暇活動の相違からはじめ、19世紀以降のイギリス人の余暇活動のあり方と、それによって生みだされた大衆文化について考えてみたい。講義をとおして、イギリスにおける現在のライフスタイルの誕生の一端を理解していただければ幸いである。なお、参考文献は、開講時および講義中に紹介する。

2604 経済原論 (選・2年次・4単位・通年) 西村 貞雄

現代の経済問題を論じる上で必要な経済学の基礎知識を修得することを目的とする。ミクロ経済学(価格理論)とマクロ経済学(所得理論)を扱う。数式よりも図によって説明し、特に経済学的な考え方がどのようなものであるかを説明することに重点を置きたい。テキストは追って指示する。

2606 英米の思想 (選・3・4年次・4単位・通年) 小池 英光

文学部開講科目1062「哲学特殊講義II」参照。

2610 英米の社会 (選・3・4年次・4単位・通年) 岩野一郎
〔人種・移民・エスニシティー—多民族社会アメリカを探る〕

アメリカはしばしば「移民の国」と呼ばれるが、複数の民族からなる多様性の故に、「多様の中の統一」(e pluribus unum)が国家のモットーとなっている。

昨年から開講したこの講義では、多民族社会アメリカの成り立ちに関して、移民の歴史、統合意識の変化、assimilationの問題、市民権獲得と政治参加、多文化主義などの問題を広く取り扱いながら考究していく。「アメリカ史」の知識のあることが望ましい。

参考書：綾部恒雄編『アメリカの民族』(弘文堂、1992)

本間長世『多民族社会アメリカのゆくえ』(岩波書店、岩波ブックレット、1992)

A. シュレジンガー『アメリカの分裂』(岩波書店、1992)

野村達朗『民族で読むアメリカ』(講談社、1992)

2613 社会学概論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) R. Riemer
〔INTRODUCTION TO SOCIOLOGY〕

This course is an introduction to the study of society. A systematic presentation is given of the basic aspects of society including culture and subculture, socialization, social class, and collective behavior. An analysis of three major social institutions in American society (family, education and religion) is also given.

The pace and demands of the course are not beyond the capacity of the students who are willing to listen to the lectures, read the textbook, take notes in class, and participate in class discussion.

2621 アメリカの宗教 (選・3・4年次・4単位・通年) 梶原 寿
〔マーティン・ルーサー・キングの宗教思想〕

1950年代半ばから1960年代を通じて公民権運動を指導したマーティン・ルーサー・キングの宗教思想は、アメリカ建国の理念と統合精神の深化に大きく貢献した。本講義はM. L. キングの生涯と思想を学ぶことを通してアメリカ統合の精神に接近することを企図している。本年度もキングの代表的スピーチを原文で紹介することに重点を置いていきたい。

テキスト：梶原寿著『マーティン=L=キング』(清水書院)

2622 アメリカの文学 (選・3・4年次・4単位・通年) 堀部 充

アメリカ黒人文学を概観し、アメリカ社会で黒人の置かれた状況が黒人文学にどのように反映されているかを考えてみたい。ライト、エリソン、ボールドウィン

中心に、時代背景と黒人作家たちのテーマを検討する。授業では作品を読むことを中心にする。多量の作品、文献を読む予定である。

2631 アメリカの政治(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 岩野 一郎

本年は大統領選挙に挟まれたいわゆる「中間選挙」の年である。クリントン政権の実績が有権者によって評価される年であるといつてよい。この講義では、マスコミによって伝えられるアメリカの「中間選挙」を追いながら、その基盤をなすアメリカの政治制度について、連邦レベルを中心に大統領制、議会、裁判所などについて講義を進めていく。また、アメリカ人にとって最も身近な政府である「ローカル・ガヴァンメント」についても講ずる予定である。受講生には「アメリカ史」の知識のあることが望ましい。

参考書：福田・野村・岩野編著『アメリカ合衆国』（ミネルヴァ書房、1989）

福田・野村・岩野・堀編著『現代アメリカ合衆国』（ミネルヴァ書房、1993）

2632 アメリカの政治(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 金井 光太郎
〔公共観念と国家〕

近代の個人主義的公共観がなぜ、どのようにして発展したのかを、アメリカ合衆国の歴史的経験をふまえて検討する。公権力の正統化によって、政府、自由、憲法などの基本概念がいかに変容を遂げたかを探る。さらに、そのような政治体制が日本やイスラムの伝統と比べて、非常に特殊なものであることを明らかにすることで、現代国家の問題点にも迫ってゆきたい。

2641 アメリカの外交(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 宮川 佳三
〔アメリカと世界システム〕

1980年代終わりから冷戦終えんのプロセスが始まり、国際政治・経済の環境が大きく変わりつつある。そのなかでアメリカは唯一の超大国になったといわれているものの、その影響力の低下は否定することができない。いずれにしろ、20世紀末に向かって世界システムに根本的な変革が起こっていることは確かである。

独立以来、アメリカはその地理的位置により、ヨーロッパとの政治上のコミットメントを最小にし、自国の発展のためにエネルギーを注ぎ込み、世紀転換期には20世紀の世界システムのなかで大国の地位を占めるに至った。

本講義ではアメリカの対外関係を「世界システム」の変遷のなかでとらえ、今日の国際政治の舞台におけるアメリカの存在について考える。

テキスト：Paul Kennedy, *The Rise And Fall Of The Great Powers*

Jerel A. Rosati, *The Politics Of United States Foreign Policy*

William H. Becker & Samuel F. Wells, Jr. ed. *Economics and*

World Power

(注) これらのテキストは一部分を印刷したのを使います。このほかに英文論文を数点使います。

2642 アメリカの外交(2) (選・3・4年次・4単位・通年) H. Wray

This course covers American diplomacy, primarily with China and Japan, from 1800 to the present through a combination of lecture and student reports. We will examine the background factors that influence the foreign policy of all three countries. Major attention will be devoted to the factors that led to the Pacific War. We will examine the significance that the Allied Occupation of Japan and the Cold War played in shaping all three nations' postwar foreign policy.

2643 アメリカの経済 (選・3・4年次・4単位・通年) 堀 一郎

本講義は現代アメリカ経済の構造と特質を経済政策、産業・企業、対外経済政策を中心に理解することを目的とするが、その方法としては、現在のアメリカ経済が戦後、いかなる歴史的な過程を経て形成されてきたかを重点に講義を行いたい。それを通して戦後アメリカの経済発展の特徴を明らかにすると同時に、現在、アメリカ経済がいかなる位置にあり、その経済諸問題はいかなる意味を持っているのかを、戦後経済の発展の観点から考えたい。また、このような方法によってアメリカと日本の経済システムの比較も可能となろう。

テキストは福田・野村・岩野編著『アメリカ合衆国』(ミネルヴァ書房、1989)および福田・野村・岩野・堀編著『現代アメリカ合衆国』(ミネルヴァ書房、1993)を使用する。

2646 アメリカの法制 (選・3・4年次・4単位・通年) 倉持孝司

法学部開講科目8420「英米法」参照。

2651 アメリカ史特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

安武秀岳

〔連邦・州・民衆——独立革命と南北戦争との統一的理解のために〕

連邦を意味するthe Unionと言う言葉は独立宣言から南北戦争の頃までよく政治家達によって使われたが、その後このような用語法はすっかりすたれてしまった。このユニオンという言葉 키워ドに当時の連邦政府がどのようにして民衆を直接的に支配していくことになるかを検討する。

2652 アメリカ史特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

H. Wray

This course will cover American history through focusing on major topics which have continued to be controversial from colonial times to the present. Some of the topics that will be covered are immigration, racial and sexual discrimination; centralization versus decentralization, capital versus labor, the meaning and purpose of education, foreign policy controversies, freedom, and individualism.

2676 国際経済学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

西村 貞雄

〔国際経済問題と米国〕

米国と国際経済のかかわりが増大するにつれ、国際経済問題上の対立が増加してきた。これらはGATT等の国際貿易システムの問題、日米間の貿易摩擦、米国における保護主義的圧力の増大など、貿易にかかわる問題と、日米の大幅な経常収支不均衡や為替レートなどの国際金融に関する問題に大別される。本講義では米国をめぐるこれらの国際経済問題を問題別に取り上げて分析してゆく。ジャーナリストイックな議論に振り回されず論理的に分析するために、適宜国際経済学の基礎理論の説明も行っていきたい。

2677 国際経済学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・前期)

M. Bremer

経営学部6282「経営学特殊問題」参照。

2680 国際政治論 (選・3・4年次・4単位・通年)

菊池 努

法学部8470「国際政治学」参照。

2682 国際政治論特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

岩島 久夫

〔現代国際政治の回顧と展望〕

国際政治は(1)グローバル・レベル、(2)地域レベル、(3)国家レベル、(4)非政府レベル、(5)個人レベルの多角的・多層的な動きが複雑に絡んで動いている。「冷戦」時代から「冷戦後」にいたる生きた国際政治を動かす力を把握し、「ハードキルからソフトキルへ」といわれる新しい国際政治のダイナミックな変容の理解につとめ、その中で国際政治の中心課題である「戦争と平和」の問題を考える。

(平成5年度の「国際政治論特殊講義」を受講した4年次学生は受講の必要なし。)

2683 国際政治論特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

岩島久夫

〔国際政治の理論とシステム〕

国際政治をどのように把えるかの考え方(理論・学説)と国際政治が動く筋道(システム・方法)を、歴史的、構造的、機能的に考察する。国際政治論特殊講義(1)を国際政治の動態的把握とすれば、この講義はその静態的把握といえよう。

(国際政治論特殊講義(1)との併受講可。)

2684 国際企業論 (選・3・4年次・4単位・前期)

A. Iaquinto

経営学部6251「多国籍企業論」参照。

2686 外交史Ⅰ (選・3・4年次・4単位・通年)

明石陽至

明治維新以来の日本の外交問題をテーマ毎にとり挙げ、日本が前近代国家からアジアの列強そして世界の列強の一員となって行く外交展開過程を考察する。時代的には幕末開国から太平洋戦争までをカバーする。

2687 外交史Ⅱ (選・3・4年次・4単位・通年)

佐々木雄太

ヨーロッパを中心に今世紀の国際関係史を講義する。ただし、歴史を年代記的に叙述するのではなく、重要な歴史的事項の意義や問題性を重点的に解説し、国際関係とその歴史を見る眼を養うことを目的としたい。講義の主題には以下の項目が含まれる。

- (1)国際関係を見る眼 (2)帝国主義と第一次世界大戦
- (3)ロシア革命とウィルソン主義
- (4)ヴェルサイユ・ワシントン体制 (5)ファシズムと宥和政策
- (6)第二次世界大戦の起源 (7)第二次世界大戦の性格と戦時連合
- (8)「冷戦」と超大国の時代 (9)冷戦終結後の世界

<テキスト>

柳沢英二郎他著『危機の国際政治史』(亜紀書房)

5521 国際経済学 (選・3・4年次・4単位・通年)

山田正次

経済学部5521「国際経済学」参照。

自由科目

1801 文学論 (自・3・4年次・4単位・通年)

内藤克彦

文学部1801「文学論」参照。

2805 産業組織論 (選・3・4年次・4単位・通年・隔週) 渡辺悌爾

経済学部5545「産業組織論」参照。

- 5542 財政学 (自・3・4年次・4単位・通年) 末重正行
経済学部5542「財政学」参照。
- 5543 金融論 (自・3・4年次・4単位・通年) 荒井好和
経済学部5543「金融論」参照。
- 5811 会計原理 (自・3・4年次・4単位・通年) 白木俊彦
5812 経済学部5811、5812「会計原理」参照。
- 5835 民法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 柳澤秀吉
経済学部5835「民法Ⅰ」参照。
- 5851 商法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 篠田四郎
経済学部5851「商法Ⅰ」参照。
- 5871 行政法 (自・3・4年次・4単位・通年) 市橋克哉
経済学部5871「行政法」参照。
- 6104 経営学総論 (自・3・4年次・4単位・夏期集中+後期) 岸田民樹
経営学部6104「経営学総論」参照。
- 6136 マーケティング論 (自・3・4年次・4単位・隔週) 中田善啓
経営学部6136「マーケティング論」参照。
- 6305 情報処理概論 (自・3・4年次・4単位・通年) 山田進
6310 村本正生
経営学部6305~6310「情報処理概論」参照。 (集中) 井垣伸子
- 8001 憲法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 小林武
法学部8001「憲法Ⅰ」参照。
- 8120 国際法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 岡田泉
法学部8120「国際法Ⅰ」参照。
- 8390 国際私法 (自・3・4年次・4単位・通年) 青木清
法学部8390「国際私法」参照。

随 意 科 目

2931 英語作文 (上級) (1) (随・2・3・4年次・2単位・通年)
2932 渡 辺 義 和

2941 英語会話 (上級) (1) (随・2・3・4年次・2単位・通年)
2942 (2)

D. Dycus

This course will concentrate on developing students' speaking and listening ability through the use of communicative activities. An important focus will be on vocabulary, especially words, phrases, and structures used to describe important thought, feelings, and events and experiences. Some classes will include discussion and/or problem solving activities. Students will be expected to work together in pairs or small groups.

9053 英語科教育法 (C) (随・3年次・4単位・通年) 松 永 隆

英語のスキルを、listening・speaking・reading・writingの順番で取り上げ具体的な指導方法や言語活動の組み立てかたを、講義と演習形式で学んでいきます。教授法や学習理論など理論的な学習で終わることなく、ビデオなどを活用し具体的な指導技術を学び、できる限り現場の教師になったつもりで、模擬授業を数回行ってもらいます。この際、新学習指導要領も参照しながら、中学・高校の英語教育の現状と問題点、英語教師に求められるものは何かを考えてほしいと思います。小テスト(教授法や理論的知識を問うもの)を4-5回、教案作成の課題を4-5回、学期末レポートを課す予定です。たとえ5分の言語活動でも、工夫して作成するのに相当な時間とエネルギーが必要とされること、創意・工夫の重要性を体験できるような教科教育法の授業を心掛けていきたいと思っています。

9054 英語科教育法 (D) (随・3年次・4単位・通年) 田 中 春 美

前期は、応用言語学を中心として、やや理論的に進め、後期から具体的な教授法、教案の書き方、文部省の学習指導要領など、教育実習にかかわる事柄を学ぶ。ビデオを通して具体例に触れる予定。前後の定期試験のほか、数回のレポートを要求する。出席は極めて重視される。

テキスト：未定

【外国語学部イスパニヤ科】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3101	イスパニヤの文化	1	必	2	木下 登	前期
3102	ラテンアメリカの文化	1	必	2	富野 幹雄	後期
3121					{ A. Cárdenas	{ (西) 1
3122	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₁) (一年用)	1	必	2	{ C. Pavón	{ (西) 2
3123					{ F. Rey	{ (西) 3
3131					{ A. Cárdenas	{ (西) 1
3132	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₂) (一年用)	1	必	2	{ C. Pavón	{ (西) 2
3133					{ F. Rey	{ (西) 3
3221	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₃)	2	必	2	{ A. Cárdenas	{ (西) 1
3222					{ C. Pavón	{ (西) 2
3231	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₄)	2	必	2	{ A. Cárdenas	{ (西) 1
3232					{ C. Pavón	{ (西) 2
3241	イスパニヤ語Ⅱ (作文)	2	必	2	松下 マルタ	{ (西) 1, (西) 2
3242						
3251	イスパニヤ語Ⅱ (講読 ₁)	2	必	2	{ 山田 睦 男	{ (西) 1
3252					{ 佐竹 謙 一	{ (西) 2
3255	イスパニヤ語Ⅱ (講読 ₂)	2	必	2	{ 小知和 優 江	{ (西) 1
3256					{ 坂田 幸 子	{ (西) 2
3261	イスパニヤ語Ⅱ (文法)	2	必	2	{ 高橋 覚 二	{ (西) 1
3262					{ 大岩 勉	{ (西) 2
3321	イスパニヤ語Ⅲ (会話)	3	必	2	C. Pavón	{ (西) 1, (西) 2
3322						
3341	イスパニヤ語Ⅲ (作文)	3	必	2	F. Rey	{ (西) 1, (西) 2
3342						
3351	イスパニヤ語Ⅲ (講読)	3	必	2	{ 芝 修 身	{ (西) 1
3352					{ 木下 登	{ (西) 2
3421	イスパニヤ語Ⅳ (会話)	4	必	2	{ 松下 マルタ	{ (西) 1
3422					{ A. Cárdenas	{ (西) 2

外国語学部

イスパニヤ科

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3441 3442	イスパニヤ語Ⅳ(作文)	4	必	2	{ F. Rey 松 下 マルタ	{ (西) 1 (西) 2
3451 3452	イスパニヤ語Ⅳ(講読)	4	必	2	{ 山 田 睦 男 芝 修 身	{ (西) 1 (西) 2
3271 3272	英 語 a(作文)	2	必	2	{ I. Harnett M. LaForge	{ (西) 1 (西) 2
3371 3372	英 語 b(訳読)	3	必	2	{ 西 脇 博 渡 辺 義 和	{ (西) 1 (西) 2
3299	語学総合試験	2	必	0		
3301	演 習 I	3	必	4	木 下 登	
3302					佐 竹 謙 一	
3303					高 橋 覚 二	
3304					松 下 マルタ	
3305					芝 修 身	
3306					富 野 幹 雄	
3307					山 田 睦 男	
3308					安 原 毅	
3401	演 習 II	4	必	4	木 下 登	
3402					佐 竹 謙 一	
3403					P. Simón	
3404					高 橋 覚 二	
3405					松 下 マルタ	
3406					富 野 幹 雄	
3407					安 原 毅	
A 群						
2501	言語学方法論	2	選	4	有 元 將 剛	英米科開講科目
3502	イスパニヤ語概説	2	選	4	大 岩 勉	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
3503	イスパニヤ・ラテンアメリカ文学概説	2	選	4	佐 竹 謙 一	
3504	イスパニヤ 語音声学	3・4	選	4		本年度休講
3511	イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ作品研究-現代)	3・4	選	4	有 本 紀 明	
3512	イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ作品研究-古典)	3・4	選	4	佐 竹 謙 一	
3513	イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (ラテンアメリカ短編小説)	3・4	選	4		本年度休講
3514	イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ思想)	3・4	選	4	木 下 登	
3521	イスパニヤ語学特殊講義 (現代イスパニヤ語文法)	3・4	選	4	高 橋 覚 二	
3522	イスパニヤ語学特殊講義 (スペイン語史)	3・4	選	4		本年度休講
2560	記 号 論 理 学	2・3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2561	歴 史 ・ 比 較 言 語 学	3・4	選	4		本年度休講
2563	意 味 論	3・4	選	4	公 平 珠 躬	英米科開講科目
2564	言 語 の 哲 学	3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2565	コミュニケーション論	3・4	選	4	岡 部 朗 一	英米科開講科目 前期
2567	コミュニケーション 特 殊 講 義	3・4	選	4	岡 部 朗 一	英米科開講科目 前期+集中
B 群						
3601	イ ス パ ニ ヤ 史	2	選	4	芝 修 身	
3602	ラテンアメリカ史	2	選	4	野 田 隆	
2604	経 済 原 論	2	選	4	西 村 貞 雄	英米科開講科目
3603	経 済 原 論	2	選	4	安 原 毅	
3604	ラテンアメリカの政治	3・4	選	4		本年度休講
3606	ラテンアメリカの経済 (ブラジル)	3・4	選	4	富 野 幹 雄	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
3607	ラテンアメリカの経済 (スペイン語圏)	3・4	選	4	安 原 毅	
3608	イスパニヤ・ ラテンアメリカの法制	3・4	選	4		本年度休講
3611	イスパニヤ・ラテン アメリカ史特殊講義	3・4	選	4	野 田 隆	
3615	イスパニヤ・ラテン アメリカ特殊研究 (ラテンアメリカ思想)	3・4	選	4	松 下 マルタ	
3617	イスパニヤ・ラテン アメリカ特殊研究 (メキシコ経済)	3・4	選	4	安 原 毅	
3618	イスパニヤ・ラテン アメリカ特殊研究 (都市論)	3・4	選	4	山 田 睦 男	
5521	国 際 経 済 学	3・4	選	4	山 田 正 次	経済学部開講科目
2676	国際経済学特殊講義(1)	3・4	選	4	西 村 貞 雄	英米科開講科目
2677	国際経済学特殊講義(2)	3・4	選	4	M. Bremer	経営学部開講科目 前期週 2 回
2680	国 際 政 治 論	3・4	選	4	菊 池 努	法学部開講科目
2682	国際政治論特殊講義(1)	3・4	選	4	岩 島 久 夫	英米科開講科目
2683	国際政治論特殊講義(2)	3・4	選	4	岩 島 久 夫	英米科開講科目
2684	国 際 企 業 論	3・4	選	4	A. Iaquinto	経営学部開講科目 前期週 2 回
5523	開 発 経 済 学	3・4	選	4		本年度休講
両群共通科目						
3701	商業イスパニヤ語 I	3・4	選	4	大 岩 勉	
3702	商業イスパニヤ語 II	4	選	4		本年度休講
3703	新聞イスパニヤ語	3・4	選	4	山 田 睦 男	
3704	イスパニヤ語通訳法	3・4	選	4	小知和 優 江	他学部履修不可
3711	ブラジルポルトガル語 研 究 I	3・4	選	4	富 野 幹 雄	
3712	ブラジルポルトガル語 研 究 II	3・4	選	4	富 野 幹 雄	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	自由科目					
1801	文 学 論	3・4	自	4	内 藤 克 彦	文学部開講科目
2592	商 業 英 語 (2)	3・4	自	4	M. Wright	英米科開講科目
2686	外 交 史 I	3・4	自	4	明 石 陽 至	英米科開講科目
2687	外 交 史 II	3・4	自	4	佐々木 雄 太	英米科開講科目
2805	産 業 組 織 論	3・4	自	4	渡 辺 悌 爾	経済学部開講科目 (隔週)
5542	財 政 学	3・4	自	4	末 重 正 行	経済学部開講科目
5543	金 融 論	3・4	自	4	荒 井 好 和	経済学部開講科目
5811	会 計 原 理	3・4	自	4	白 木 俊 彦	経済学部開講科目
5812						
5835	民 法 I 1	3・4	自	4	柳 澤 秀 吉	経済学部開講科目
5851	商 法 I	3・4	自	4	篠 田 四 郎	経済学部開講科目
5871	行 政 法	3・4	自	4	市 橋 克 哉	経済学部開講科目
6104	経 営 学 総 論	3・4	自	4	岸 田 民 樹	経営学部開講科目 (夏期集中+後期)
6136	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	3・4	自	4	中 田 善 啓	経営学部開講科目 (隔週)
6305	情 報 処 理 概 論 (コンピュータ・リテラシー)1	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6306	情 報 処 理 概 論 (コンピュータ・リテラシー)2	3・4	自	4	山 田 進	経営学部開講科目
6307	情 報 処 理 概 論 (Fortran)	3・4	自	4	井 垣 伸 子	経営学部開講科目 (夏期集中)
6308	情 報 処 理 概 論 (Cobol)	3・4	自	4		本年度休講
6309	情 報 処 理 概 論 1 (Pascal)	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6310	情 報 処 理 概 論 2 (Pascal)	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
8001	憲 法 I	3・4	自	4	小 林 武	法学部開講科目
8120	国 際 法 I	3・4	自	4	岡 田 泉	法学部開講科目
8390	国 際 私 法	3・4	自	4	青 木 清	法学部開講科目

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	随意科目					
3901	イスパニヤ語Ⅱ講読	2・3・4	随	2	芝 修身	
3902	イスパニヤ語Ⅱ会話	2・3・4	随	2	E. Goicoechea	
3921	ブラジルポルトガル語Ⅱ	2・3・4	随	2	富野 幹雄	{「ブラジルポルトガル語研究Ⅰ」(イスパニヤ科生用科目)で充当
3911	上級イスパニヤ語Ⅰ	3・4	随	2		{「イスパニヤ語Ⅱ」の講読、作文、会話(イスパニヤ科生用科目)のいずれかで充当
3915	上級イスパニヤ語Ⅱ	4	随	2		{イスパニヤ科生用「イスパニヤ語Ⅲ」で充当
3925	上級ブラジルポルトガル語Ⅰ	3・4	随	2	富野 幹雄	{「ブラジルポルトガル語研究Ⅱ」(イスパニヤ科生用科目)で充当
9071	イスパニア語科教育法	3	随	4	高橋 覚二	

外国語学部

イスパニヤ科

【外国語学部イスパニヤ科】

講義概要

必修科目

3101 イスパニヤの文化 (必・1年次・2単位・前期) 木下 登
スペインの有する文化の豊かさを掘り起こしつつ、今後専門的講義を理解するための基礎知識の習得に努める。視聴覚教材を利用する。

3102 ラテンアメリカの文化 (必・1年次・2単位・後期) 富野 幹雄
ラテンアメリカの歴史の概略、経済の特徴と問題点、同地域に関する開発理論、人種問題・外国からの移住、その他のテーマについて見ていきたい。
テキストは特に指定しない。

3121～3123 イスパニヤ語Ⅱ (会話1・2) (一年用)
3131～3133 (必・1年次・2単位・通年) A. Cárdenas
C. Pavón
F. Rey

Estudio de nivel básico de conversación en español a través de gran variedad de actividades.

Esta es una clase activa y los estudiantes deberán participar en las distintas tareas programadas.

3221・3222 イスパニヤ語Ⅱ (会話3・4) (必・2年次・2単位・通年)
3231・3232 A. Cárdenas
C. Pavón

El objetivo de este curso es que los estudiantes aprendan a expresarse en español con cierta soltura en temas de la vida diaria.

Todos deberán participar activamente en los dialogos, entrevistas, actividades grupales, etc. que se organicen.

3241 イスパニヤ語Ⅱ (作文) (必・2年次・2単位・通年)
3242

松下 マルタ

一年時で習得した知識をさらに広め、応用する。特に、言語訓練、テキストの内容の把握、文章表現の方法に重点を置いて学習する。

3251 イスパニヤ語Ⅱ（講読1）（必・2年次・2単位・通年）

山田 睦 男

地域研究に関連した多分野（ラテン・アメリカの歴史、政治、経済、社会、文化など）の比較的初歩的で容易な文献（西語圏の中等教育教科書レベル）を読み、理解する。教材は、追って指定する。

3252 イスパニヤ語Ⅱ（講読1）（必・2年次・2単位・通年）

佐竹 謙 一

アルフォンソ・サストレの*La mordaza*を読む。テキストについては授業中に指示する。

3255 イスパニヤ語Ⅱ（講読2）（必・2年次・2単位・通年）

小和知 優 江

Benito Pérez Galdósの作品を一篇読む。

3256 イスパニヤ語Ⅱ（講読2）（必・2年次・2単位・通年）

坂田 幸 子

テキストは、現代スペイン社会の話題を扱った『スペインは今』（ベナビデス著、白水社）と、スペイン内線を舞台としたマックス・アウブの小説*Las buenas intenciones*（プリントにて配布）を併用。一年次で学習した文法事項の復習をしながら読解力をつけることを目標とする。また、スペイン語の表現法と日本語の表現法の違いを指摘し、それにとまなう翻訳上の問題についても考えてみたい。提出物を指示するので必ず出すこと。提出なき場合、単位の保証はできない。

3261 イスパニヤ語Ⅱ（文法）（必・2年次・2単位・通年）

高橋 覚 二

一年次に学んだスペイン語文法は入門的なもので、スペイン語を駆使するには、もっと詳しい知識が必要です。理論的な説明を加え、より詳しく広範にスペイン語の文法を語り、文法の面白味を味わえたい。テキストには『基礎スペイン語便覧』を使用。

3262 イスパニヤ語Ⅱ（文法）（必・2年次・2単位・通年）

大岩 勉

現代スペイン語の理解力を高めることを目的とします。一年次で学んだ文法を基礎にして、読解力と表現力をじっくりと養成したい。教材はすべてプリントにして配布します。

3321 イスパニヤ語Ⅲ (会話) (必・3年次・2単位・通年)
3322

C. Pavón

En este curso, el objetivo es llevar a la práctica los conocimientos lingüísticos adquiridos en los niveles anteriores y desarrollar en los estudiantes la capacidad de expresarse en español con fluidez.

Además del libro de texto correspondiente, se usará material audiovisual complementario para facilitar la comprensión.

Habrà exposición de temas, debates, entrevistas, etc, en las que se pedirá a los estudiantes una participación activa.

3341 イスパニヤ語Ⅲ (作文) (必・3年次・2単位・通年)
3342

F. Rey

El objetivo fundamental de este curso es proporcionar al estudiante la teoría y la práctica requeridas para satisfacer las necesidades básicas de comunicación a través del lenguaje escrito.

Se hará primero la presentación de modelos de redacción que ilustren una función lingüística determinada. Las cartas, notas, apuntes, noticias de Prensa y breves párrafos narrativos, descriptivos, de opinión, etc. presentados, servirán de guía para la realización de redactar textos similares.

A través de un sistema interactivo de intercambio de correspondencia entre los alumnos de diversos grupos se promoverá una comunicación lo más real posible.

3351 イスパニヤ語Ⅲ (講読) (必・3年次・2単位・通年)

芝 修身

スペイン中・近世の日常生活に関する易しい歴史書を講読する。スペインに留学を志す学生に、同国の予備知識を与えることも目的とする。

3352 イスパニヤ語Ⅲ (講読) (必・3年次・2単位・通年)

木 下 登

現代スペインの代表的作家たちによるエッセイを講読します。

3421 イスパニヤ語Ⅳ (会話) (必・4年次・2単位・通年)

松 下 マルタ

Se usarán artículos de periódicos y revistas sobre temas de actualidad política, económica y cultural. Se organizarán los alumnos en grupos pequeños

para la realización de debates.

3422 イスパニヤ語Ⅳ(会話) (必・4年次・2単位・通年) A. Cárdenas

El objetivo de este curso es el desarrollo de la habilidad para comunicarse oralmente de una forma efectiva. Se hará énfasis en temas de comunicación intercultural que los estudiantes seleccionen. Todas las clases requieren la participación activa de los alumnos en actividades, tareas y proyectos dentro y fuera del aula.

3441
3442 イスパニヤ語Ⅳ(作文) (必・4年次・2単位・通年)

F. Rey

松下 マルタ

En base a un texto elaborado especialmente para esta clase, se enseñarán las técnicas de argumentación, resumen, entrevista y ensayo.

3451 イスパニヤ語Ⅳ(講読) (必・4年次・2単位・通年)

山田 陸男

地域研究に関連した多分野(ラテン・アメリカの歴史、政治学、経済学、社会学、人類学など)の学術文献を読み、理解する。専門術語の正確な理解とその適切な邦訳を重視する。語彙力を強化するため、それぞれの単語の関連語(派生語、同意語、反意語、品詞転換)について十分に調査してくることを求める。また、諸概念を簡潔に定義する力を養うため、西々辞書の利用を勧めたい。教材(複数)は、追って指定する。

3452 イスパニヤ語Ⅳ(講読) (必・4年次・2単位・通年)

芝 修身

スペイン中・近世の社会、即ち、家族、結婚、名誉、宗教、メタリテイ等に関する歴史書を講読する。

3271
3272 英語 a(作文) (必・2年次・2単位・通年)

I. Harnett

M. LaForge

3371
3372 英語 b(訳読) (必・3年次・2単位・通年)

西脇 博

渡辺 義和

3301 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

木下 登

スペインは、A. セネカ以来今日に至るまで思想面においても多様性と共に豊か

な内容を誇る国である。こうした思想的背景を研究した後で、後半では現代スペインを代表する思想家J・オルテガ・イ・ガセット研究に的をしぼっていく。

Texto : J. L. Abellán. *Panorama de la filosofía actual*, Madrid, 1978.

3302 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 佐竹謙一

ゼミ I では中世を除くスペイン文学を現代に至るまでの広範囲にわたってとり扱うことにする。テーマなどは各自で選択してもらうが、その前に文献の選び方、リサーチの方法から始め、各々の時代背景や生活環境をまず知ってもらうために資料を重点的に読んでいき、しばしば折りに触れ五～十分程度の発表をしてもらう。また前期・後期一回づつそれぞれ異なるテーマで十枚程度のペーパーを提出してもらうことにする。

3303 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 高橋覚二

現代スペイン語の語法に重点を置く。スペイン語の表現には、文法的には近しくても使わないもの、文法的に間違っても使うものがあり、文法を構成していく上で、文法は万能とは言い難い。このような点を、日本語などと比較しつつ調べてみたい。

3304 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 松下マルタ

19世紀と20世紀における改革運動と革命運動の論理とその主な指導者について検討する。メキシコ、アルゼンチン、チリ、キューバを中心とする。

3305 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 芝修身

スペインの16世紀は黄金世紀といわれる。黄金世紀という言葉はスペイン栄光の時代という印象を我々に与える。しかし果して実体はそうであろうか。この黄金世紀の実象にせまるため、主として『スペイン帝国の興亡 1469-1716』をテキストにして、16世紀とその前後の時代を政治、経済、文化等様々な観点から研究することを本ゼミナールの主要目的とする。この研究を通して、口頭発表の仕方、議論のやり方、小論文の書き方、歴史の勉強の方法等も習得していく。

3306 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 富野幹雄

ブラジル社会経済史、特に現代(1930年以降)における近代化の問題や人種関係に力点を置いて、勉強して行きたい。しかし、リサーチペーパーのテーマはそれに限定しない。

なお、本演習に参加する学生は資料等を読む必要があるので、ブラジルポルトガル語研究 I を同時に履修してもらいたい。

3307 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年) 山田 陸 男
〔ラテン・アメリカ都市研究〕

都市を通して、ラテン・アメリカの歴史と現代の政治、経済、社会、文化、環境問題などの諸相を研究する、特殊研究「イベリアとラテン・アメリカの都市」とも関連する。3年生の段階では、学際的、総合的な見方を前提とした研究を求めたい。前半は、主要な書誌、学術雑誌の使い方、文献検索の方法、調査法、論文執筆法について指導し、ついで各参加者の研究課題を考慮して講師の指定する資料(西、葡、英、邦語)の要旨発表と関連調査を求める。後半は、各自の選択した課題に関する文献の要旨発表、研究の進捗と論文作成状況の段階的な報告を中心に運営する。活発な意見表明を評価する。

3308 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年) 安原 毅
〔ラテン・アメリカにおける「社会主義」の研究〕

ニカラグア、チリ、キューバといった現代ラテンアメリカで成立したいわゆる社会主義諸国について、その政治・経済・社会問題・宗教etcを研究する。事実関係を頭に入れるよりも、社会を観る視点を身につけることに重点を置きたい。

3401 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 木 下 登

3402 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 佐 竹 謙 一

3403 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) P. Simón

3404 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 高 橋 覚 二
各自の関心に添った研究を進め、リサーチペーパー作成へとつなげていく。

3405 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 松 下 マルタ
Los alumnos continuarán con el desarrollo del tema elegido.

3406 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 富 野 幹 雄
各自が3年次に選択したテーマに関する研究発表を中心とする。

一応の目安として夏休み後の発表の時点までに最終的なテーマを決定して、11月初旬にはリサーチペーパーの構成を固め、12月には下書きに入れるように準備してもらいたい。

3407 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 安原 毅

選択科目

A 群

2501 言語学方法論 (選・2年次・4単位・通年) 有元将剛

英米科2501「言語学方法論」参照。

3502 イスパニヤ語概説 (選・2年次・4単位・通年) 大岩勉

スペイン語は、ポルトガル語、イタリア語、フランス語、ルーマニア語と同じようにラテン語から変化して成立した、ロマンス系の言語です。このスペイン語が、どのような変化の過程を経て、現在の形になったのか、スペイン語史の基礎的な部分を確実に把握できるように授業を進めてゆきたい。

スペイン語が有する特徴は何なのか、スペイン語は基本的に、どのような性格の言語なのかを理解するための基礎を固めるのがこの授業の目標となります。教材はプリントにして配布します。

3503 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学概説 (選・2年次・4単位・通年)

佐竹謙一

テキストはプリントで配布し、その中の重要な作家を中心に講義をすすめていく。スペイン文学は特に中世・黄金世紀に重点をおいて説明する予定であるが、できるだけ二十世紀の作家にまで言及したいと考えている。なお、ラテンアメリカ文学の方は時間に余裕があれば最後の一・二時間を割いて特に“ブーム”の作家について概説したい。

3511 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義(イスパニヤ作品研究—現代)

(選・3・4年次・4単位・通年) 有本紀明

〔闘牛と文学〕

スペインで最大の詩的な豊かさと生命力を誇るもの、それが闘牛だと詩人ロルカは言う。闘牛は文学の限りない源泉となり、ぼう大な闘牛文学を育んだ。闘牛のまた雄牛自体の美、力、感動、神秘性は文学にとどまらず他の芸術の分野、例えば絵画—ゴヤ、ソラナ、スロアガ、ピカソー、彫刻、音楽のテーマとなる。この講義では歴史的な背景と広がり概観しながら、主に近代文学にあらわれた意味について見てみたいと思う。テキスト及び参考文献は教室でその都度、配付、提示する。

3512 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義(イスパニヤ作品研究—古典)

(選・3・4年次・4単位・通年) 佐竹謙一

黄金世紀の劇作家の中から代表的な作品を選んで授業を進めていく。

(Calderón, *El médico de su honra*, *La vida es sueño*; Tirso de Molina, *El burlador de Sevilla*)

3514 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義（イスパニヤ思想）

（選・3・4年次・4単位・通年） 木 下 登

前期は、スペインの多様性研究について、思想研究を軸にいくつかの視座を供すべく講義を行なう。

後期には、各学生がひとつのテーマについて夏期休暇中に研究・作成したレポートに関して、更に考察を深めるとともに、発展し討論を重ねていく。

3521 イスパニヤ語学特殊講義（現代イスパニヤ語文法）

（選・3・4年次・4単位・通年） 高 橋 覚 二

伝統的な文法書として定評のあるRafael SecoのManual de la gramática Españolaを読んでスペイン語文法の知識を深めるとともに、機能的な見地から批判を試み、正しい文法的知識を得るようにしたい。93年度とは内容が異なる。

2560 記号論理学（選・2・3・4年次・4単位・通年）服 部 裕 幸

英米科2560「記号論理学」参照。

2563 意味論（選・3・4年次・4単位・通年）公 平 珠 躬

英米科2563「意味論」参照。

2564 言語の哲学（選・3・4年次・4単位・通年）服 部 裕 幸

英米科2564「言語の哲学」参照。

2565 コミュニケーション論（選・3・4年次・4単位・前期）

岡 部 朗 一

英米科2565「コミュニケーション論」参照。

2567 コミュニケーション特殊講義（選・3・4年次・4単位・前期+集中）

岡 部 朗 一

英米科2567「コミュニケーション特殊講義」参照。

選択科目

B 群

3601 イスパニヤ史（選・2年次・4単位・通年）芝 修身

講義の概要は次の通りである。

(I) レコンキスタの進展とその後世への影響

(II) 黄金世紀スペインの外交・軍事面における優位と経済的後進性

- (Ⅲ) 17世紀ヨーロッパの危機とスペインの衰退
(Ⅳ) 内戦に至った19～20世紀の社会・経済上の諸矛盾
テキストを使用し、中・近世中心に講義する。

3602 ラテンアメリカ史 (選・2年次・4単位・通年) 野田 隆
〔メキシコ史を中心に〕

オルメカ文明にはじまる古代文明の発展、スペイン植民地時代、独立以後、そしてメキシコ革命(1910～20)後の現代まで、メキシコ史を概観しながら、あわせてラテンアメリカ史の流れを見ていきたい。

〈参考書〉 国本・畑・細野『概説メキシコ史』(有斐閣、1984)

増田義郎『インディオ文明の興亡』(世界の歴史 7) (講談社、1984)

加茂雄三『ラテンアメリカの独立』(世界の歴史 23) (講談社、1978)

国本伊代『概説ラテンアメリカ史』

2604 経済原論 (選・2年次・4単位・通年) 西村 貞雄
英米科2604「経済原論」参照。

3603 経済原論 (選・2年次・4単位・通年) 安原 毅
地域研究の予備知識として必要な、簡単な経済学の方法を説明する。コピーを適宜配布する。

3606 ラテンアメリカの経済 (選・3・4年次・4単位・通年)
(ブラジル) 富野 幹雄

本年度は、ラテンアメリカ経済を理解する手掛かりの一つとして、ブラジル経済の事例研究を歴史的な流れを中心として講義する予定。

テキスト：『ブラジル、その歴史と経済』(啓文社)

参考書：『概説ブラジル史』(有斐閣)

『ブラジル史』(文庫クセジュ、白水社)

3607 ラテンアメリカの経済(スペイン語圏)
(選・3・4年次・4単位・通年) 安原 毅

主として20世紀における、ラテンアメリカの経済発展(農業、大土地所有制、工業化)を説明する。各国別の事情に深入りするよりも、全体的な経済構造の解説を中心としたい。参考書としてクリストバル・カイ著、『ラテンアメリカ・開発と低開発の理論』(近刊)を用いる。

3611 イスパニヤ・ラテンアメリカ史特殊講義

(選・3・4年次・4単位・通年)

野田 隆

〔現代メキシコのナショナリズム〕

芸術革命（壁画運動）・労働者保護政策・農地改革・石油国有化・民族産業育成・自主独立外交などを中心に、現代メキシコにおける民族主義的諸改革を検討してみたい、2年次の「ラテンアメリカ史（メキシコ史概説）」未修者は、概説書を読んでもおくこと。

〈参考書〉 国本伊代『概説ラテンアメリカ史』

3615 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（ラテンアメリカ思想）

(選・3・4年次・4単位・通年)

松下 マルタ

Se analizarán las grandes corrientes del pensamiento a partir de la independencia. Se estudiará el liberalismo de la independencia, el romanticismo historicista, el positivismo, el idealismo, el nacionalismo y el indigenismo en sus vinculaciones con el pensamiento marxista. Se usará como texto “Las corrientes del pensamiento latinoamericano” y los alumnos deberán leer algunas obras de los pensadores estudiados.

3617 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（メキシコ経済）

(選・3・4年次・4単位・通年)

安原 毅

累積債務、経済自由化といった1980年代以降のメキシコの政治・経済問題を取り扱う。また後期には北米自由貿易協定（NAFTA）を中心に、世界経済の今後について考えたい。テキストは指定しないが、西語の資料を配布する。

3618 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（都市論）

(選・3・4年次・4単位・通年)

山田 睦 男

〔イベリアとラテン・アメリカの都市〕

ローマ期、イスラム期、レコンキスタ期のスペインとポルトガル、プレコロンビア期のアメリカ、その後のスペインとポルトガル、植民地時代以後のラテン・アメリカの都市の発展と今日の都市の諸相について講義する。主要な都市に関する西語ビデオ教材も適宜鑑賞する。前期と後期に成績評価をかね、関心ある特定都市について的小論文（400字原稿用紙10-15枚相当+注、参考文献表）を課し、その要旨発表も求める。

5521 国際経済学（選・3・4年次・4単位・通年）

山田 正 次

経済学部5521「国際経済学」参照。

2676 国際経済学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 西村 貞夫

英米科2676「国際経済学特殊講義」参照。

2677 国際経済学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・前期) M. Bremer

経営学部6282「経営学特殊問題」参照。

2680 国際政治論 (選・3・4年次・4単位・通年) 菊池 努
法学部8470「国際政治学」参照。

2682 国際政治論特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

2683 国際政治論特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

岩島 久夫

英米科2682、2683「国際政治論特殊講義」参照。

2684 国際企業論 (選・3・4年次・4単位・前期) A. Iaquinto
経営学部6251「多国籍企業論」参照。

両群共通科目

3701 商業イスパニヤ語 I (選・3・4年次・4単位・通年)

大岩 勉

海外との取引で使用されているスペイン語は、様々な分野に及び、その実態はきわめて多岐にわたる。この授業では、現在においても依然として中心的な存在である商業書簡について、その基礎的な部分を確実に理解し、スペイン語による文章表現力をしっかりと身につけることを目的とする。

3703 新聞イスパニヤ語 (選・3・4年次・4単位・通年) 山田 睦 男

ラテン・アメリカやスペインの時事問題に関する新聞、雑誌記事などを教材として講読する。教材は、適宜配布する。

3704 イスパニヤ語通訳法 (選・3・4年次・4単位・通年)

小知和 優 江

同時通訳室を使用して、西語から日本語、日本語から西語の口頭訳の練習を基礎から行ない、レベルはその年度の受講生に応じたものを選ぶ。定員20名。

3711 ブラジルポルトガル語研究Ⅰ (選・3・4年次・4単位・通年) 富野幹雄

イスパニヤ語と比較しながら、ブラジルのポルトガル語の文法の基礎を学ぶ。
テキスト：『スペイン語からポルトガル語へ』（大学書林）

3712 ブラジルポルトガル語研究Ⅱ (選・3・4年次・4単位・通年) 富野幹雄

ポルトガル語の基礎文法を修得した学生を対象とした、さらに読解力を養うことを目的とした授業。

主としてブラジルの文化に関するプリントを使う予定です。

自由科目

1801 文学論 (自・3・4年次・4単位・通年) 内藤克彦
文学部1801「文学論」参照。

2592 商業英語(2) (自・3・4年次・4単位・通年) M. Wright
英米科2591「商業英語(1)」参照。

2686 外交史Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 明石陽至
英米科2686「外交史Ⅰ」参照。

2687 外交史Ⅱ (自・3・4年次・4単位・通年) 佐々木雄太
英米科2687「外交史Ⅱ」参照。

2805 産業組織論 (自・3・4年次・4単位・通年・隔週) 渡辺悌爾
経済学部5545「産業組織論」参照。

5542 財政学 (自・3・4年次・4単位・通年) 末重正行
経済学部5542「財政学」参照。

5543 金融論 (自・3・4年次・4単位・通年) 荒井好和
経済学部5543「金融論」参照。

5811 会計原理 (自・3・4年次・4単位・通年) 白木俊彦
5812 経済学部5811、5812「会計原理」参照。

- 5835 民法 I 1 (自・3・4年次・4単位・通年) 柳澤秀吉
経済学部5835「民法 I」参照。
- 5851 商法 I (自・3・4年次・4単位・通年) 篠田四郎
経済学部5851「商法 I」参照。
- 5871 行政法 (自・3・4年次・4単位・通年) 市橋克哉
経済学部5871「行政法」参照。
- 6104 経営学総論 (自・3・4年次・4単位・夏期集中+後期) 岸田民樹
経営学部6104「経営学総論」参照。
- 6136 マーケティング論 (自・3・4年次・4単位・隔週) 中田善啓
経営学部6136「マーケティング論」参照。
- 6305
} 情報処理概論 (自・3・4年次・4単位・通年) 山田進
6310 村本正生
経済学部6305~6310「情報処理概論」参照。 (集中) 井垣伸子
- 8001 憲法 I (自・3・4年次・4単位・通年) 小林武
法学部8001「憲法 I」参照。
- 8120 国際法 I (自・3・4年次・4単位・通年) 岡田泉
法学部8120「国際法 I」参照。
- 8390 国際私法 (自・3・4年次・4単位・通年) 青木清
法学部8390「国際私法」参照。

随意科目

- 3901 イスパニヤ語 II (講読) (随・2・3・4年次・2単位・通年)

芝修身

最初は1年次の文法も復習しながら、易しい読み物から始めたい。読解力の向上とともに、文学作品、新聞など種々取上げ、中級レベルの読解力を身につけたい。

3902 イスパニヤ語Ⅱ（会話）（随・2・3・4年次・2単位・通年）
E. Goicoechea

3921 ブラジルポルトガル語Ⅱ（随・2・3・4年次・2単位・通年）
富野 幹 雄
「ブラジルポルトガル語研究Ⅰ」で充当。

3911 上級イスパニヤ語Ⅰ（随・3・4年次・2単位・通年）
「イスパニヤ語Ⅱ」の講読、作文、会話（イスパニヤ科生用科目）で充当。
ただし、イスパニヤ語Ⅱ会話（1年生用）は除く。

3915 上級イスパニヤ語Ⅱ（随・4年次・2単位・通年）
イスパニヤ科生用「イスパニヤ語Ⅲ」で充当。

3925 上級ブラジルポルトガル語Ⅰ（随・3・4年次・2単位・通年）
富野 幹 雄
「ブラジルポルトガル語研究Ⅱ」（イスパニヤ科生用）で充当。

9071 イスパニア語科教育法（随・3・4年次・4単位・通年）
高橋 覚 二
コンピュータをスペイン語教育に導入する方法を、実際に機械に触りながら、学んでいきたい。

【外国語学部日本語学科】（1992年度以前に入学した学生に適用）

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
必修科目						
4101	日本語学概論 a	1	必	2	曾我松 男	前期
4102	日本語学概論 b	1	必	2	加藤 俊一	前期
4103	日本語学概論 c	1	必	2	伴 紀子	前期
4111	日本語教育概論 a	1	必	2	駒井 明	後期
4112	日本語教育概論 b	1	必	2	坂本 正	後期
4113	日本語教育概論 c	1	必	2	土田 友章	後期
4201	日本語学基礎演習	2	必	2	町田 奈々子	後期
4206	日本文化基礎演習	2	必	2	土田 友章	前期
4211	日本文化概論	2	必	4	土田 友章	
4315	現代日本語の構造 I	3	必	4	駒井 明	
4316	現代日本語の構造 II	3	必	4	町田 奈々子	
4311	日本語史	3	必	4	進藤 義治	
4325	日本文学	3	必	4	細谷 博	
4321	外国語教育方法論	3	必	4	駒井 明	
4301	演習 I	3	必	4	加藤 俊一	
4302	演習 I	3	必	4	坂本 正	
4303	演習 I	3	必	4	阿部 泰明	
4304	演習 I	3	必	4	土田 友章	
4411	日本語教育実地研究 a	4	必	4	伴 紀子	
4412	日本語教育実地研究 b	4	必	4	阿部 泰明	
4413	日本語教育実地研究 c	4	必	4	土田 友章	
4401	演習 II	4	必	4	曾我松 男	
4402	演習 II	4	必	4	町田 奈々子	
4403	演習 II	4	必	4	土田 友章	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
選 択 科 目						
4501	日本語資料研究(1)	2	選	4		本年度休講
4502	日本語資料研究(2)	2	選	4	駒 井 明	
4511	日本文化研究	2	選	4	Jan Swyngedouw	前期、週2回
4521	外書講読(日本語学)	2	選	4	阿 部 泰 明	
4522	外書講読(日本語教育)	2	選	4	伴 紀 子	
4523	外書講読(日本文化)	2	選	4	加 藤 俊 一	
4530	国際英語 I	3	選	4	Harry Wray	
4531	日本語特殊講義(1)	3・4	選	4	曾 我 松 男	
4532	日本語特殊講義(2)	3・4	選	4	阿 部 泰 明	
4533	日本語特殊講義(3)	3・4	選	4	町 田 奈々子	
4534	日本語特殊講義(4)	3・4	選	4	村 杉 恵 子	
4541	日本語教育特殊講義(1)	3・4	選	4	坂 本 正	
4542	日本語教育特殊講義(2)	3・4	選	4	中 野 清	
4551	日本文化特殊講義(1)	3・4	選	4	Jan Swyngedouw	前期、週2回
4552	日本文化特殊講義(2)	3・4	選	4	土 田 友 章	
4553	日本文化特殊講義(3)	3・4	選	4	竹 内 敏 晴	後期、週2回
4554	日本文化特殊講義(4)	3・4	選	4	櫻 井 進	
4560	国際英語 II	4	選	4	加 藤 俊 一	
自 由 科 目						
4801	日本文学史	3・4	自	4	細 谷 博	文学部開講科目
4811	日本文学講読 I	3・4	自	4	安 田 文 吉	文学部開講科目
4812	日本文学講読 II	3・4	自	4	福 長 進	文学部開講科目
4821	日本文学特殊講義 I	3・4	自	4	美濃部 重 克	文学部開講科目
4822	日本文学特殊講義 II	3・4	自	4	大 谷 俊 太	文学部開講科目

【外国語学部日本語学科】 (1993年度以降に入学した学生に適用)

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
必修科目						
4101	日本語学概論 a	1	必	2	曾我松男	前期
4102	日本語学概論 b	1	必	2	加藤俊一	前期
4103	日本語学概論 c	1	必	2	伴紀子	前期
4111	日本語教育概論 a	1	必	2	駒井明	後期
4112	日本語教育概論 b	1	必	2	坂本正	後期
4113	日本語教育概論 c	1	必	2	土田友章	後期
4211	日本文化概論	2	必	4	土田友章	
4301	演習 I	3	必	4	加藤俊一	
4302	演習 I	3	必	4	坂本正	
4303	演習 I	3	必	4	阿部泰明	
4304	演習 I	3	必	4	土田友章	
4401	演習 II	4	必	4	曾我松男	
4402	演習 II	4	必	4	町田奈々子	
4403	演習 II	4	必	4	土田友章	
選択科目						
4501	日本語資料研究(1)	2	選	4		本年度休講
4502	日本語資料研究(2)	2	選	4	駒井明	
4511	日本文化研究	2	選	4	Jan Swyngedouw	前期、週2回
4521	外書講読(日本語学)	2	選	4	阿部泰明	
4522	外書講読(日本語教育)	2	選	4	伴紀子	
4523	外書講読(日本文化)	2	選	4	加藤俊一	
4201	日本語学基礎演習	2	選	2	町田奈々子	後期
4206	日本文化基礎演習	2	選	2	土田友章	前期
4315	現代日本語の構造 I	3	選	4	駒井明	
4316	現代日本語の構造 II	3	選	4	町田奈々子	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
4311	日本語史	3	選	4	進藤 義治	
4325	日本文学	3	選	4	細谷 博	
4321	外国語教育方法論	3	選	4	駒井 明	
4530	国際英語 I	3	選	4	Harry Wray	
4531	日本語特殊講義(1)	3・4	選	4	曾我 松男	
4532	日本語特殊講義(2)	3・4	選	4	阿部 泰明	
4533	日本語特殊講義(3)	3・4	選	4	町田 奈々子	
4534	日本語特殊講義(4)	3・4	選	4	村杉 恵子	
4541	日本語教育特殊講義(1)	3・4	選	4	坂本 正	
4542	日本語教育特殊講義(2)	3・4	選	4	中野 清	
4551	日本文化特殊講義(1)	3・4	選	4	Jan Swyngedouw	前期、週2回
4552	日本文化特殊講義(2)	3・4	選	4	土田 友章	
4553	日本文化特殊講義(3)	3・4	選	4	竹内 敏晴	後期、週2回
4554	日本文化特殊講義(4)	3・4	選	4	櫻井 進	
4560	国際英語 II	4	選	4	加藤 俊一	
4411	日本語教育実地研究a	4	選	4	伴 紀子	
4412	日本語教育実地研究b	4	選	4	阿部 泰明	
4413	日本語教育実地研究c	4	選	4	土田 友章	
自由科目						
4801	日本文学史	3・4	自	4	細谷 博	文学部開講科目
4811	日本文学講読 I	3・4	自	4	安田 文吉	文学部開講科目
4812	日本文学講読 II	3・4	自	4	福長 進	文学部開講科目
4821	日本文学特殊講義 I	3・4	自	4	美濃部 重克	文学部開講科目
4822	日本文学特殊講義 II	3・4	自	4	大谷 俊太	文学部開講科目

【外国語学部日本語学科】

講義概要

必修科目

- | | | | |
|------|----------|----------------|------|
| 4101 | 日本語学概論 a | (必・1年次・2単位・前期) | 曾我松男 |
| 4102 | 日本語学概論 b | (必・1年次・2単位・前期) | 加藤俊一 |
| 4103 | 日本語学概論 c | (必・1年次・2単位・前期) | 伴紀子 |

言語学的視点から日本語を研究・分析する方法とその結果を概観し、日本語教育にとって、どのような知識・研究が必要かを考察する。学生は積極的に授業活動に参加することが期待され、自分の意見をはっきり述べる訓練も同時に行う。

- | | | | |
|------|-----------|----------------|------|
| 4111 | 日本語教育概論 a | (必・1年次・2単位・後期) | 駒井明 |
| 4112 | 日本語教育概論 b | (必・1年次・2単位・後期) | 坂本正 |
| 4113 | 日本語教育概論 c | (必・1年次・2単位・後期) | 土田友章 |

担当教員はそれぞれの専門分野の立場から外国語としての日本語教育の原理、内容、方法について概観し、日本語教師に求められている基本的知識と役割を考察する。

- | | | | |
|------|--------|----------------|------|
| 4211 | 日本文化概論 | (必・2年次・4単位・通年) | 土田友章 |
|------|--------|----------------|------|

前期では、文化とは何か、文化の研究法、日本文化史の時代区分などを、考えてゆく。後期では、E. ヘリゲル、新渡辺稲造などの日本文化論をとりあげ検討する。

- | | | | |
|------|------|----------------|------|
| 4301 | 演習 I | (必・3年次・4単位・通年) | 加藤俊一 |
|------|------|----------------|------|
- 〔初級・中級の学習項目〕

日本語教育の初級および中級クラスではどのような項目がどのように教えられているかを検討する。教科書には寺村秀夫の『日本語の意味とシンタクスⅠ・Ⅱ・Ⅲ』を用いるが、各種教科書およびその指導参考書を各自読むことが要求される。

- | | | | |
|------|------|----------------|-----|
| 4302 | 演習 I | (必・3年次・4単位・通年) | 坂本正 |
|------|------|----------------|-----|
- 〔日本語教育と第二言語習得研究〕

第二言語学習者が第二言語をいかに習得するかに関して理解を深め、日本語教育との関わりを考えて、効果的な日本語教育法を模索する。本年度は、1) 第一言語の役割、2) 中間言語と「自然な」習得の道筋、3) インプットと相互交渉、4) 第二言語習得における授業の役割、等について考察する。教室では、学生諸君の積極的な参加が要求される。

主教材：ロッド・エリス著『第2言語習得の基礎』、NCI.

4303 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

阿部 泰明

〔生成文法と日本語の分析〕

普遍文法に関する理論的考察を行いながら、日本語の文法（統語論）の研究について学んで行く。日本語が他の言語とどのように違うか、またそれらの表面的な違いの裏に潜んでいる抽象的原理は何かということに主眼を置いて考察を進める。日本語の句構造、格の理論、ゼロ代名詞、WH疑問文、述語の項構造などのトピックについて最近の論文を読んで議論する。論文（英語で書かれたものが中心）はプリントの形で配布する。

外書講読（日本語学）を履修済のこと。また、同時に日本語特殊講義2（阿部）を履修することが望ましい。他の日本語学の講義についてもなるべく多く同時履修することが薦められる。

4304 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年)

土田 友章

4403 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年)

〔日本人の美と心：世阿弥を中心として〕

前期では、『風姿花傳』を、原文について、また英訳を検討しながら、正確に理解することを試みる。後期では、世阿弥の他の著作や、異なる分野の芸術論などを取り上げ、日本人の美意識と精神性を探究する。（後期でも英文の研究書などを用いる。）

4311 日本語史 (必・3年次・4単位・通年)

進藤 義治

〔古代日本語から近代日本語へ（文法史）〕

1. 主格助詞の確立の歴史と、日本語文における主格の性質
2. 推量（想像）ムードの表現法の変遷とその意味するところ
3. 指定表現の歴史と、現代文章言葉の成立

上の三項目を中心に日本語の古代語と、近代語の文法の変化を検討する。
テキストはプリントを作成配布する。参考書はプリント末に列記する。

4315 現代日本語の構造Ⅰ（音声） (必・3年次・4単位・通年)

駒井 明

音声学及び音韻論の基礎知識を学び、その知識を基にして日本語の音声と音韻構造を学ぶ。

4316 現代日本語の構造Ⅱ（文法）（必・3年次・4単位・通年）

町田 奈々子

生成文法の枠組を用いて、日本語の構造を分析する能力を培うことを目的とする。テキストには久野暉の『日本文法研究』（1973, 大修館）を使用するが、補充教材はプリントの形で配布される。

4321 外国語教育方法論（必・3年次・4単位・通年） 駒井 明

We will examine various ideas and principles underlying the teaching and learning of a second language, comparing this at times with the learning of one's own mother tongue. Some practical aspects of teaching and learning a second language will also be discussed.

4325 日本文学（必・3年次・4単位・通年） 細谷 博

〔漱石を読む〕

漱石晩年の二作『道草』と『明暗』を読むことによって、生活世界のただ中におかれた人間への鋭く、かつ、おかしみに満ちたゆたかな理解を読みとり、作品読解の奥行きと可能性をさぐる。

テキスト：夏目漱石『道草』『明暗』新潮文庫

4401 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・通年） 曾我松 男

〔生成文法と日本語〕

演習Ⅰで学んだ日本語分析法を用い、日本語文法とその意味の分析を検討していく。後期は、各自の選んだテーマについての発表をし討議する。

4402 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・通年） 町田 奈々子

〔日本語学と日本語教育の関連領域〕

前期は最近の日本語学、日本語教育の分野で書かれた論文を批判的に読むことにより具体的に卒業研究の進め方を考察する。前期終了までに各自の研究テーマを決定し、後期にはそのテーマに従って各自研究を進める。クラスではその中間報告と討論が行われる。

4403 演習Ⅱ（必・4年次・4単位・通年） 土田 友章

〔演習Ⅰ－上記－と同じ〕

4411 日本語教育実地研究 a（必・4年次・4単位・通年） 伴 紀子

4412 日本語教育実地研究 b（必・4年次・4単位・通年） 阿部 泰明

4413 日本語教育実地研究 c（必・4年次・4単位・通年） 土田 友章

日本語教育の多面性を理解するために日本語学及び日本文化を基礎において実地研究を行う。外国人留学生別科を中心に各種の日本語教育の授業を見学した後、自

ら教案を作成して模擬実習に用いる。また実際に与えられた教材を素材として各種の学習者に教えてみる。特に後期は別科生との個人レッスンを計画している。

選択科目

4201 日本語学基礎演習 (選・2年次・2単位・後期) 町田 奈々子
言葉とは何か、言葉の研究にはどのようなものがあるか、を主に日本語を素材として学ぶ。

4206 日本文化基礎演習 (選・2年次・2単位・前期) 土田 友章
〔柳田国男と折口信夫〕
主として、日本人の〈かみ〉についての両者の見解の相違を把握し、さらにその意味を考える。テキストは『先祖の話』ほか。

4502 日本語資料研究(2) (選・2年次・4単位・通年) 駒 井 明
日本語には、和文、漢文、和漢混交文、候文などいろいろな文体が存在する。これらについてそれぞれの典型的なサンプルを手に取り、その背景を考えながら、変遷や特徴を調査・考察する。

4511 日本文化研究 (選・2年次・4単位・前期) Jan Swyngedouw
国際化社会の到来や、それに対する日本の貢献を念頭に置きながら、とくに外国人の理解をうながす方向で、現代日本人の文化構造を支えている基本的価値体系を概観する。

4521 外書講読 (日本語学) (選・2年次・4単位・通年) 阿部 泰明
現代言語学の基礎を学習する授業。 *An Introduction to Language* (Fromkin & Rodman) を教科書に用い、言語学の基本的領域である音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論の各領域の章を中心に読み進んで行く。内容中心の授業となるので、英語で読み、理解することが要求される。講義の中で日本語の材料を扱うことで、概論的に日本語の仕組みについての考察を行う。

4522 外書講読 (日本語教育) (選・2年次・4単位・通年)
伴 紀子

最近の言語教育理論は言語学習に注目するようになった。そこでその基礎を習得するために英文テキストの講読をし、日本語教育にどのように関わっているか、どのように適用していくかを考える。

4523 外書講読 (日本文化) (選・2年次・4単位・通年) 加藤 俊一
ことばとことばを使つてのコミュニケーションのしかたは「文化の鏡」であると言われる。日本人の物の考え方、宗教観、歴史、社会、仕事などとことばとの関連を扱つた、*Japanese Language and Culture for Business and Travel* (Hijirida & Yoshikawa) をテキストにし、内容について話し合う。毎回、配布されたプリントにつけられている質問に対し、自分の答えを書いて提出することが要求される。

4530 国際英語 I (選・3年次・4単位・通年) Harry Wray
In international English I, students will first study what it means to be truly international by reading appropriate materials on the subject. Second, they will study, discuss, and write about current information and news items which appear in various newspapers, journals, and books. As a general rule, students will be expected to write a two or three paragraph essay each week regarding the material assigned for reading.

4531 日本語特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)
△曾我松 男
現代日本語における時制、アスペクト、モダリティを一般理論との関連において分析し考察する。テキストは、*Tense and Aspect in Modern Colloquial Japanese* by M. Soga, the UBC Press であるが、関連する論文を併読する。

4532 日本語特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)
△阿部 泰明
[Special Seminar in Japanese Linguistics]
This course will be offered bilingually (i. e. in English and in Japanese): In the first semester, we will read a few articles on Japanese linguistics to attain fundamental knowledge about the Universal Grammar and the grammar of Japanese. Students are asked to make presentations. In the second semester, we will work together with foreign students studying in Ryuugakusei Bekka and will attempt to construct a reasonably comprehensive Generative Grammar for (a fragment of) the Japanese language. Students are encouraged to present their own ideas in class and to participate in discussion. Xerox copies will be provided as reading assignments.

4533 日本語特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 町田 奈々子
[日本語主題の「は」と名詞修飾]
日本語の構造の中から、特に主題の「は」と名詞修飾の構造に焦点をあて、生成文法の枠組みの中での分析の可能性を検討する。前期では、統語論の発達の中での

これらの構造の研究を読み進め、後期では、日本語の分析における問題点を討議しよう。

4534 日本語特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年) 村 杉 恵 子
〔心理言語学〕

心理言語学研究の中心的な課題である(1)言語の理解と産出のメカニズム、及び(2)第1・第2言語獲得について考える。理解、産出および言語獲得それぞれについて、理論的背景と分析法を概観し、実証研究を紹介する。他の言語学の領域(統語論、意味論、音韻論、形態論等)との関わりについても言及する。

テキスト: *Language: An Invitation to Cognitive Science*, Vol.1 edited by Daniel N. Osherson and Howard Lasnik (1990).

4541 日本語教育特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年)

坂 本 正

初級段階における日本語教育の総合的な基礎知識を得るのがこのコースの目的であるが、そのためには日本語教育でよく使われている初級日本語のテキストを最初から最後まで一度読んでみる必要がある。初級日本語教育に必要な英語力をつけながら、1)教科書の会話文の検討、2)視聴覚教材作成の注意点、3)初級日本語の体系的な文法知識の習得、4)補助教材の作り方の練習などを中心に授業を進めていく。

テキスト: *Japanese: The Spoken Language*, Part 1 and Part 2, by Eleanor Jordan with Mari Noda, Kodansha International Ltd., 1988.

4542 日本語教育特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

△中 野 清

〔日本語でディベートはどこまで可能か〕

ここでは、受講者どうしが日本語でディベートをおこなう。めざすところは、ディベートにおける、相対立する立場に立つてのことばのやりとりを実際に体験することを通して、受講者自身のコミュニケーション能力を高めることである。また、ディベート的会話に適さないとされる日本語の特質がなにに起因するのか、ディベート的発想での日本語での会話がどこまで可能であるのかをさぐってゆきたい。

4551 日本文化特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・前期)

Jan Swyngedouw

日本文化を支えている価値観において、日本人特有の宗教心は重要な位置を占めている。特に現代日本人の宗教意識や行動を中心にして、西洋人の宗教的発想と比較しながら日本文化の性格を検討する。

4552 日本文化特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年)

土田友章

〔日本宗教史の一研究〕

今年度は、遊行・巡礼と住持・山居を主題として、古代から現代までの日本人の宗教の思想と行動を考えてゆく。

4553 日本文化特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・後期)

△竹内敏晴

〔「からだ」と「ことば」〕

話しことばとは、ひとが、人間存在全体を挙げて他者とかかわろうとする行動の、音声的部分である。それ故、この講義では、実際にからだを動かし、話しかけ、あるいは歌いながら、行動(働きかけ)と音声、日本語の発声発音の基本などに気づいてゆき、さらに日本語に現われている人間関係の特性に考えを及ぼしたい。

4554 日本文化特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年)

櫻井進

〔徳川後期国学研究〕

徳川後期国学の宗教的・民俗学的な言説を読解する。特に、平田篤胤に焦点を当て、江戸という都市空間の中で死後の世界や民俗学の世界がどのように構成されたのかについて具体的なテキストを取り上げて論ずる。テキストは、『新修平田篤胤全集』を使用(プリント)。

4560 国際英語Ⅱ (選・4年次・4単位・通年)

加藤俊一

英語を使う時、相手に世界各国のさまざまな文化、風俗、宗教をもった人々を考え、日本人としての自分の生活や感情、文化や思想を表現することを目的とするならば、そこに生まれてくるのが「日本式国際英語」なのであると、鈴木孝夫は述べている。

できるだけ多くの「国際英語」を聴き、受信力を増しながら発信力を高めるにはどうしたらよいかを考えていくことにする。